資料２－１

つくば市公共交通活性化協議会

平 成 ２６ 年 度 事 業 報 告

目　　次

１．平成 26 年度事業報告（会議開催等）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．平成 26 年度実施事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
３．事業進捗状況評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

平成 27 年５月 29 日（金）

1　平成 26 年度事業報告（会議開催等）

項　目	期　日・場　所	内　　容
第19回 協議会の開催	５月27日（火） つくば市役所	議事項目 （１）協議会規約の改正について （２）平成25年度事業報告及びつくバス，つくタクの利用実績について （３）平成25年度歳入歳出決算について （４）平成26年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について （５）平成26年度以降の事業の進め方（案）について （６）まつりつくばの際のつくバス１日乗車券の料金軽減について
第20回 協議会の開催	８月21日（木） つくば市役所	議事項目 （１）つくバス・つくタクの第１四半期実績報告について （２）葛城地区の換地処分広告に伴う停留所の名称変更 （３）つくバスの停留所移設（案）について （４）つくバス吉沼シャトルの運行見直し（案）について （５）デマンド交通視察報告について
第21回 協議会の開催	２月17日（火） つくば市役所	議事事項 （１）第20回つくば市公共交通活性化協議会からの引継ぎ事項について （２）つくバス・つくタクの第３四半期実績報告について （３）つくバスのダイヤ改正について （４）つくバス停留所新設（案）について

2　平成 26 年度実施事業報告

（1）つくバス

1）つくバスの改正について

①路線及び時刻表の改正

平成 27 年 12 月　吉沼シャトルの上郷折り返し便の導入及び時刻表の改正を行った。

②停留所の移設

平成 27 年 10 月　自由ヶ丘シャトル（茎崎）の停留所「富士見台」の移設を行った。

2）北部シャトルの民営化の検討･･･別紙参照

（2）つくタク･･･別紙参照

つくタクの運行計画の見直しの検討について

①運行日・運行時間帯の拡大検討

②地区割りの統合及び共通ポイント増設の導入

③１時間２便運行体制

④契約方式全般に関する検討

⑤電動車いす利用可能性

（3）つくバス及びつくタクに関するアンケート調査

1　調査目的・方針

本調査は，つくば市内の公共交通及び移動実態に関する市民の状況及びニーズや課題を把握するために実施する。平成 26 年度調査では，「公共交通網形成計画」の策定を視野に入れた調査にするため，移動に対する需要ニーズ等の詳細データの把握を目指す。また，同計画で定める施策等の成果を評価するために，市民の満足度等の把握も実施する。

2　調査対象者

区分	サンプル数	備考
(1)在宅市民	4,800	20 歳から 89 歳まで 4,800 人を無作為抽出する。 ただし，地区別人口比率を参考にして抽出する。
(2)ア　路線バス利用者	1,500	平日２日　つくばエクスプレス４駅
(2)イ　つくバス利用者	1,500	平日２日　全路線
(2)ウ　つくタク利用者	2,200	・1/8,9 配付：100 人＊２日=200 人 ・自宅登録者:2,000 人
合計	10,000	

3　調査項目概要

区分	調査項目
(1)在宅市民	➢ 日常の移動行動 ➢ つくバス，つくタクに関する利用状況と今後の利用希望 ➢ 公共交通に関する意識 ➢ 基本属性
(2)ア　路線バス利用者 (2)イ　つくバス利用者	➢ 当日の移動行動情報 ➢ つくバスの満足度 ➢ つくバス，つくタクに関する利用状況と今後の利用希望
(2)ウ　つくタク利用者	➢ つくタクの利用状況 ➢ 中心地区への移動，運行エリア ➢ つくタクの満足度 ➢ つくバス，つくタクに関する利用状況と今後の利用希望

4　調査方法

区分	配付・回収方法
(1)在宅市民	質問紙調査，調査票を郵送で配付し，郵送で回収する。
(2)ア　路線バス利用者 (2)イ　つくバス利用者	バス乗車時もしくは駅滞留時に調査票を調査員が手渡配付し，郵送で回収する。
(2)ウ　つくタク利用者	①つくタク乗車時に運転手が調査票を手渡配付し，郵送で回収する。 ②つくタクの自宅登録者を対象に，郵送で調査票を配付・回収する。

5　調査期間

平成 27 年 1 月 7 日（水）から平成 27 年 1 月 16 日（金）

6　回収状況

(1)在宅市民

地区	回収数	配付数	回収率
筑波地区	87	420	20.7%
大穂地区	86	323	26.6%
豊里地区	87	360	24.2%
桜地区	110	459	24.0%
谷田部地区	191	746	25.6%
茎崎地区	133	508	26.2%
研究学園地区	360	1,588	22.7%
TX 沿線開発地区	97	387	25.1%
合計	1,151	4,791	24.0%

(2)ア　路線バス利用者，イ　つくバス利用者

回収数	配布数	回収率
592	3,000	19.7%

(3)ウ　つくタク利用者

回収数	配布数	回収率
972	2,200	44.1%

7　結果

別紙参照

3　事業進捗状況評価結果

連携計画において位置づけた目標進捗管理指標の平成 26 年度状況については下表のとおりである。

（１）基本方針１：様々な交通手段の活用と役割分担による，市民・来訪者のモビリティを支える公共交通の実現（＝輸送手段の役割分担・利便性の向上）

指標名	現況値（平成20年度）		平成25年度目標	達成状況（※1） 平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	データ取得方法
基本目標１－１　市民・来訪者など多くの人に利用される公共交通の実現								
指標1-1-1 市が関与する公共交通の利用者数	７１万人	⇗	１００万人以上	65万人	79万人	86万人	94万人※2 【達成】	常時捕捉
指標1-1-2 市内発着移動における公共交通分担率	7%	⇗	１０%以上	13%	12%	14%	16% 【達成】	年１度の市民アンケート（鉄道+バス）
基本目標１－２　役割に応じた公共交通網の構築								
指標1-2-1 鉄道端末における公共交通分担率	22%	⇗	２５%以上	33%	42%	48%	30% 【達成】	年１度の市民アンケート
指標1-2-2 交通弱者（免許非保有者）の外出頻度	３．４日／週	⇗	３５日／週以上	4.4日/週	3.8日/週	3.2日/週	3.3日/週 【未達成】	年１度の市民アンケート

（※１）色づけは目標値に対する評価を示し，目標値を上回る水準の場合は「桃色」，下回る水準の場合は「水色」で示す。
（※２）目標設定当初は，「学園南循環」を含めた利用者数で設定。平成 22 年度時点で学園南循環が約 18 万人／年の利用があったことから，100 万人/年から引いた 82 万人/年を超えるかにより評価する。

・指標 1-1-1 の公共交通の利用者数は，昨年度と比較し約８万人増え，引き続き目標を達成している。
（年間利用者数：つくバス約 89 万人，つくタク約５万人）
・指標 1-1-2 の公共交通分担率についても，目標を超えて増加傾向にある。
・指標 1-2-1 の鉄道駅における公共交通分担率は，前年度と比べて減少傾向しているが目標を達成している。
・指標 1-2-2 については，平成 24 年度までの市内の中学校第２学年の生徒を持つ世帯を対象とした調査方式から，平成 25 年度に無作為抽出による調査方式に変更したため，高齢者の割合が増え外出頻度に減少が見られるが，平成 26 年度はほぼ前年度並の割合を維持している。

（２）基本方針２：つくば市・交通事業者・市民・地域が一体となり育むことによる，将来にわたって安定的な公共交通の実現
（＝路線運営の協働・安定的供給確保）

基本目標２－１　移動手段の安定的・持続的提供								
指標名	現況値（平成20年度）	目標に向かった増減	平成25年度目標	達成状況（※1）				データ取得方法
				平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
指標2-1-1 市の公共交通維持に係る年間財政負担額	3億4,000万円	⇩	3億900万円以下	**3億 6，000万円**	**3億 4，200万円**	**3億 3，700万円**	**3億3，200万円 【未達成】**	市決算額に基づく評価
指標2-1-2 市が関与する公共交通運行維持に対する協力賛助団体数	0団体	⇧	１０団体以上	**０団体 （102店舗）**	**１団体 （101店舗）**	**２団体 （101店舗）**	**２団体（99店舗） 【未達成】**	協議会とりまとめ
基本目標２－２　「地域による地域のための」移動手段と運営手段の確保								
指標2-2-1 地域公共交通の維持・運営に対して積極的関与意向を持つ市民割合	64%	⇧	７０%以上	**57%**	**58%**	**65%**	**62% 【未達成】**	年１度の市民ｱﾝｹｰﾄ

（※１）色づけは目標値に対する評価を示し，目標値を上回る水準の場合は「桃色」，下回る水準の場合は「水色」で示す。

・指標 2-1-1 の年間財政負担額については，年々減少しており，特につくバスの負担額は利用者数の増加に伴い削減が図られている。　（年間負担額：つくバス 2 億 2,100 万円，つくタク 1 億 1,100 万円）

・指標 2-1-2 については，引き続き区会，企業２団体に停留所の設置に協力していただいている。つくタク利用券の取扱店舗の数については，店舗の閉店等に伴い減ってはいるが，新規の取扱店舗が増えている。（２店舗増，４店舗減）

・指標 2-2-1 については，積極的関与意向を持つ市民の割合はほぼ前年度並みとなっている。

（３）基本方針３：バス利用市民だけでなく，他手段利用市民や来訪者にも分かりやすく，使いやすく，必要だと感じる公共交通の実現（＝関係主体の意識の改革・環境対策への寄与）

基本目標３－１　全ての主体が公共交通の必要性を認識することによる公共交通利用の促進								
指標名	現況値（平成20年度）	目標に向けた増減	平成25年度目標	達成状況（※1）				データ取得方法
				平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
指標3-1-1 公共交通機関の運行本数に対する満足度	16%	⇗	２５%以上	46%	44%	43%	37%	年１度の利用者ｱﾝｹｰﾄ
指標3-1-2 市内発着自動車分担率	64%	⇘	６０%以下	75%	77%	75%	63% 【未達成】	年１度の市民ｱﾝｹｰﾄ
基本目標３－２　他の交通手段との連携による公共交通利用の促進								
指標3-2-1 公共交通利用における端末自転車分担率	24%	⇗	２５%以上	8%	7%	8%	10% 【未達成】	年１度の市民ｱﾝｹｰﾄ

（※１）色づけは目標値に対する評価を示し，目標値を上回る水準の場合は「桃色」，下回る水準の場合は「水色」で示す。

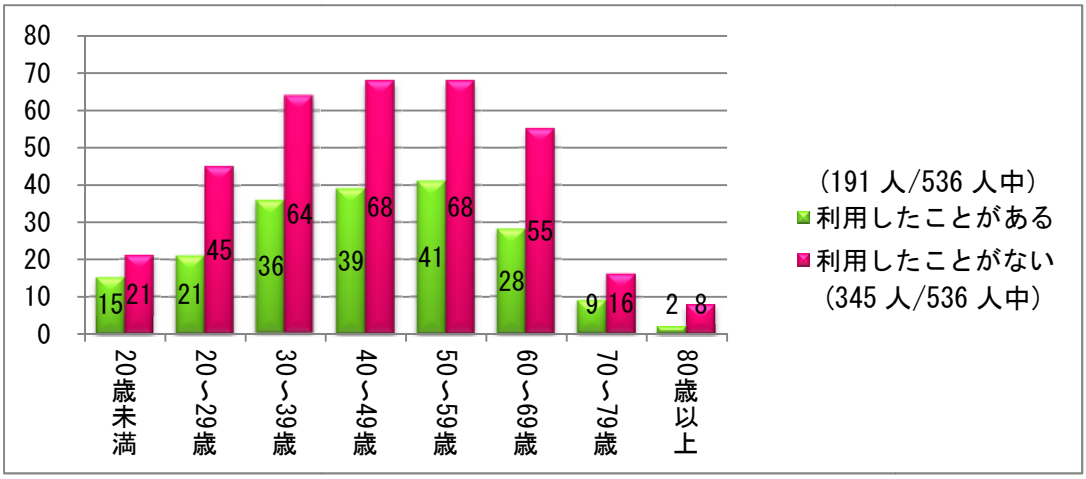
・指標 3-1-1 の運行本数に対する満足度は，微減傾向にあるものの，目標を上回っている。
・指標 3-1-2 と指標 3-2-1 については，目標に達していないが，自動車分担率が減少傾向にあると同時に，公共交通利用時の端末自転車の分担率が若干増えている。

資料２－２

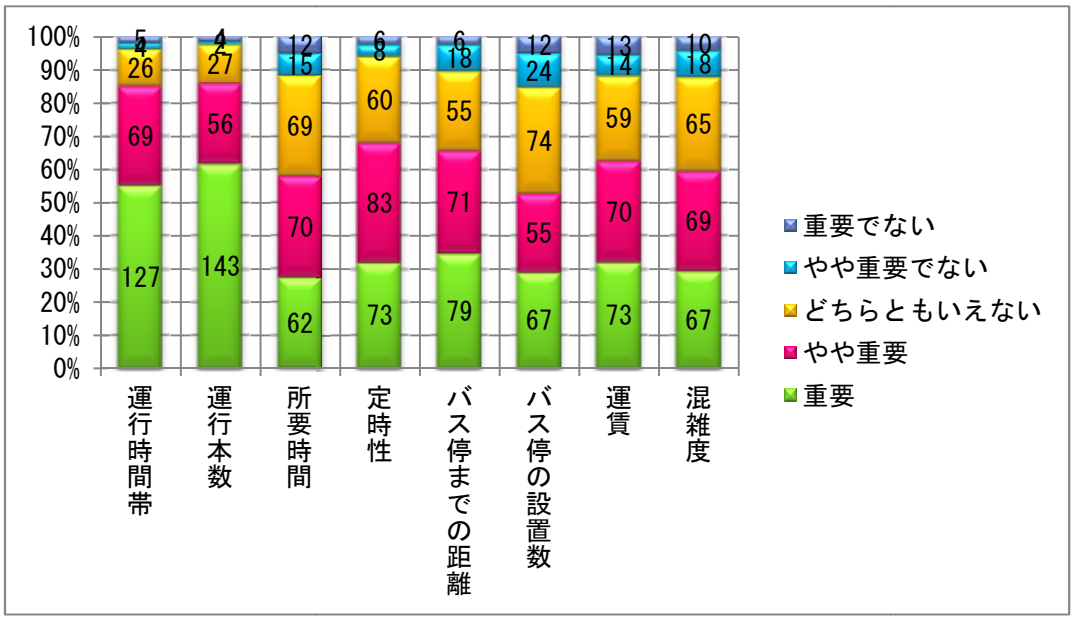
つくバス　北部シャトル運行形態の見直しについて

「公共交通の利用に関するアンケート調査」において，北部シャトルの利用状況を調査したところ，70 歳未満の全ての年代で北部シャトルが利用されている。調査回答者の内，35.6%（191 人/536 人中）が利用したことがあると回答をしている。また，利用に当たって重視していることとしては，「運行時間帯」及び「運行本数」が上げられており，利用に当たっての利便性に関連する事項は重視されている。「運賃」や「所要時間」については，低料金であること，速達性が高いことなどから，現時点の状況である程度質が担保されているため，重視されていない。上記の状況を踏まえ，運行形態を変更するために，検討すべき事項を整理し，平成 27 年度以降具体的に検証を進めていく。

■グラフ 01：つくバス北部シャトルの利用の有無



■グラフ 02：つくバス北部シャトル利用に当たって重視すること



資料２－３

つくタクの運行計画の見直しの検討について

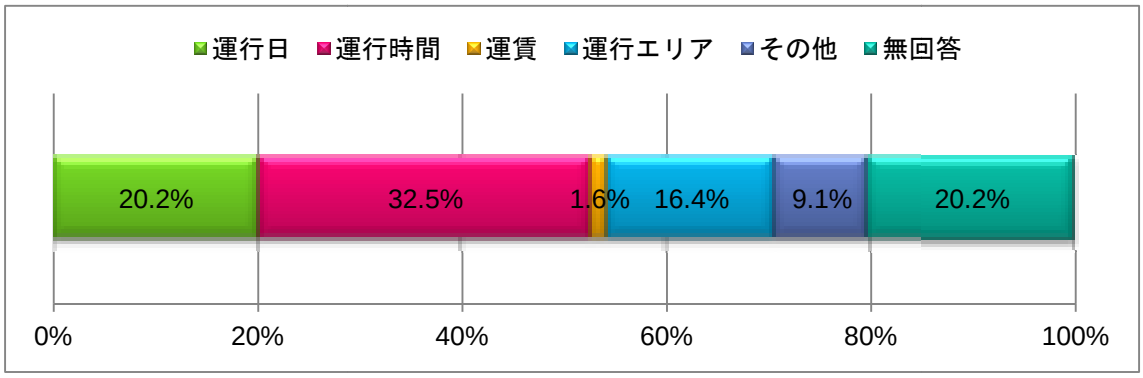
１　運行日・運行時間帯の拡大検討

運行日及び運行時間帯の拡大に関して，「公共交通の利用にアンケート調査」において市民ニーズの把握を実施した。

運行時間に不満を感じている人は，全体の 32.5%を占めており「予約を 30 分単位で取りたい」，「運行時間帯の延長して欲しい」という希望が多い。また，運行日については，20.2%が不満に感じており，「土曜日も運行して欲しい」というニーズがある。

運行日及び運行時間の拡大に対する利用者のニーズはあると想定されるが，民間タクシー事業との調整，バス事業との調整等の課題の洗い出し，運行日・運行時間帯の拡大の可能性について方向性の整理が必要である。

■グラフ 01：つくタクの利用に関する不満

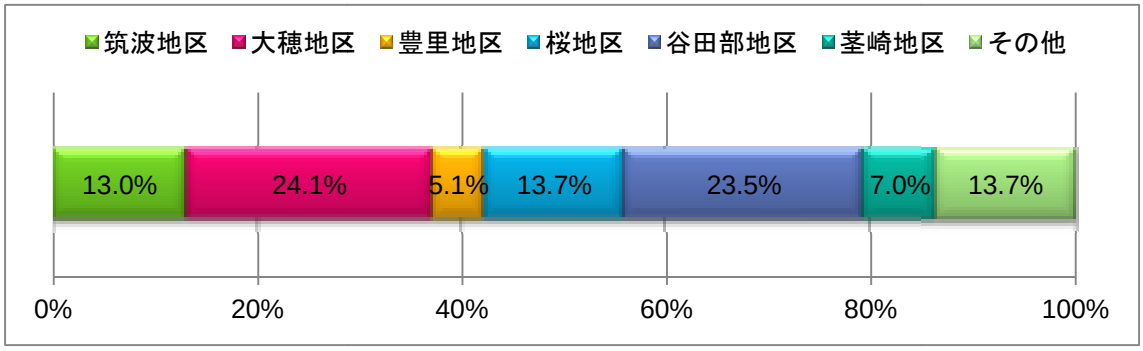


２　地区割りの統合及び共通ポイント増設の導入

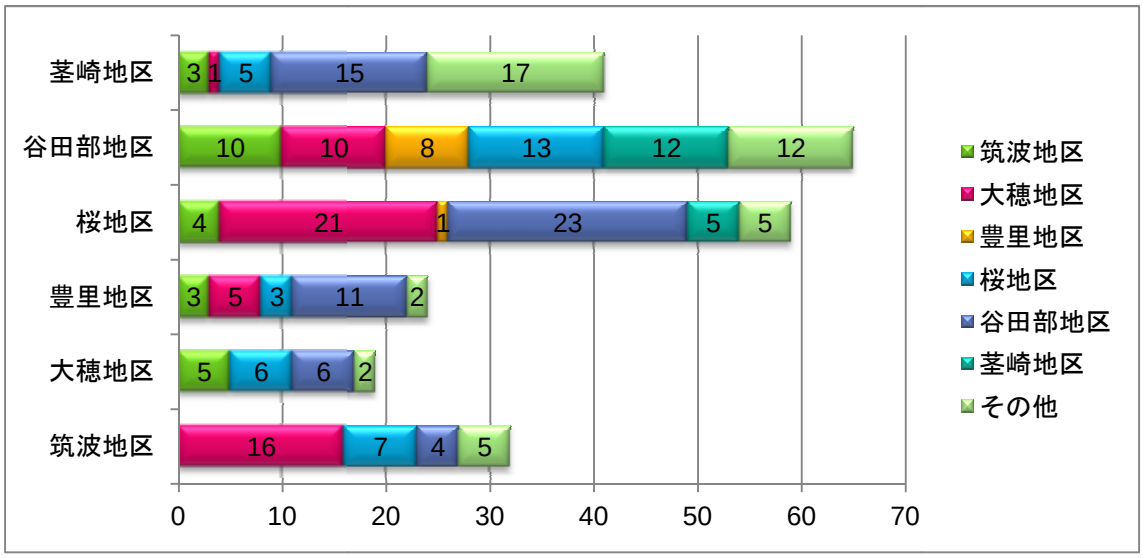
「公共交通の利用にアンケート調査」において，つくタクの利用目的地等に関する市民ニーズの把握を実施した。

現行の運行エリアを越えて行きたい目的地としては，「大穂地区」，「谷田部地区」のニーズが高い傾向にある。居住地別のニーズを見ると，隣接しているエリアに対し，目的地としてのニーズが高い傾向にある。生活圏を踏まえた運行エリアの設定及び共通ポイントの増設等についての整理・検証が必要である。

■グラフ 02：つくタクで行きたいエリア



■グラフ 03：居住地別つくタクで行きたいエリア



3　1 時間複数便運行体制

平成 26 年 12 月につくタクの運行データを採取し，1 時間当たりの複数便運行について，状況把握をした。全運行数は，2,253 件あり，基本的には 1 時間 1 便の運行であるが，運行便数総数の 7 %程度 1 時間複数便の運行がされている。1 回当たりの運行距離によっては，1 時間複数便の運行も可能であるため検討を進め，平成 27 年度に実証実験の実施を計画する。

■表 01：1 時間当たりの運行便数

区分	運行便数	割合
1 時間 1 便運行	2,088	92.7%
1 時間複数便運行	165	7.3%
合計	2,253	100%

4　契約方式全般に関する検討

　契約方式については，平成 27 年度の実証運行終了時に契約方式全体を見直しする。

5　電動車いす利用可能性

　福祉有償運送との調整が必要であることから，福祉部の所管課と協議を行った。その結果，福祉有償運送において，電動車いす利用者の運送を担うため，つくタク車両においては，電動車いす利用可能車両の導入は検討しない。

資料２－４

平成26年度
つくバスの利用実績

平成27年5月29日

つくば市　まちづくり推進部　交通政策課

Contents

1　利用実績
1.1　つくバス　利用者数推移
1.2　つくバス　平成26年度 時間別利用者推移
1.3　つくバス　平成26年度 運賃支払い形態比較
1.4　つくバス　平成26年度 路線別利用者数推移
1.5　つくバス　路線別利用状況

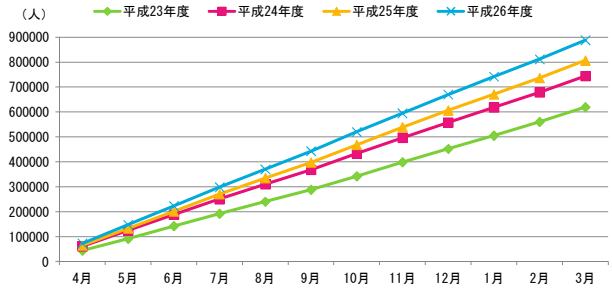
2　経費
2.1　つくバス　全体収支状況
2.2　つくバス　路線別収支状況

1

1.1 つくバス　利用者数推移

●全体として平成25年度より早いペースで利用者が増加しつつある。年間利用者数，88万人を突破する。前年度比較で10%利用者が増加している。
●全ての月において，前年同月比が伸びている。平均して74,000人の利用者を確保している。

＊グラフは毎月の利用者の累積値で作成



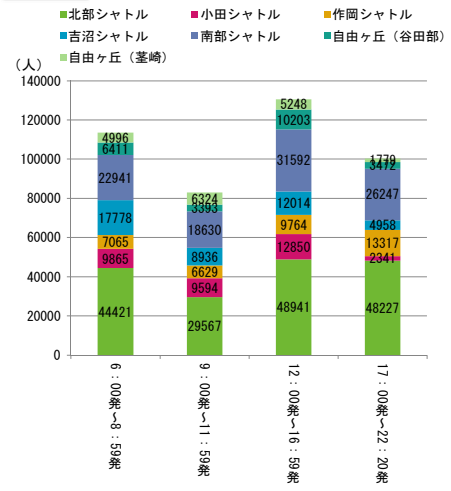
年度別月別利用者数

	平成23年度	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	利用者（人）	利用者（人）	前年比増減（人）	前年同月比	利用者（人）	前年比増減（人）	前年同月比	利用者（人）	前年比増減（人）	前年同月比
4月	43,909	61,284	17,375	139.6%	64,537	3,253	105.3%	72,833	8,296	112.9%
5月	47,972	63,538	15,566	132.4%	68,640	5,102	108.0%	74,767	6,127	108.9%
6月	50,391	62,920	12,529	124.9%	67,881	4,961	107.9%	74,837	6,956	110.2%
7月	49,555	62,577	13,022	126.3%	69,312	6,735	110.8%	75,830	6,518	109.4%
8月	48,441	59,775	11,334	123.4%	64,553	4,778	108.0%	71,800	7,247	111.2%
9月	47,731	57,799	10,068	121.1%	63,039	5,240	109.1%	72,685	9,646	115.3%
10月	54,292	65,023	10,731	119.8%	70,272	5,249	108.1%	77,412	7,140	110.2%
11月	56,275	63,846	7,571	113.5%	70,956	7,110	111.1%	74,872	3,916	105.5%
12月	53,625	61,111	7,486	114.0%	67,036	5,925	109.7%	75,254	8,218	112.3%
1月	53,011	60,715	7,704	114.5%	64,781	4,066	106.7%	71,805	7,024	110.8%
2月	55,053	60,304	5,251	109.5%	65,003	4,699	107.8%	69,833	4,830	107.4%
3月	59,187	65,639	6,452	110.9%	70,560	4,921	107.5%	76,104	5,544	107.9%
合計	619,442	744,531	125,089	120.2%	806,570	62,039	108.3%	888,032	81,462	110.1%
月平均	51,620	62,044	10,424		67,214	5,170		74,003	6,789	

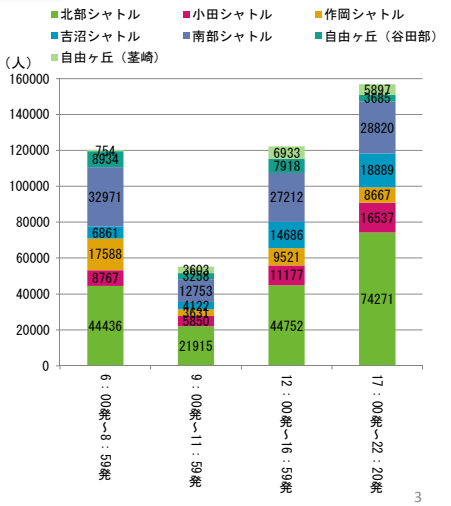
1.2 つくバス　平成26年度 時間別利用者推移

●全体として，朝(6:00～8:25)と夕方以降の時間帯の利用が多い。通勤・通学の移動手段として利用されている。
●下り便は，東京方面からの帰宅者に利用されているため，上り便に比較して夜間（16:55～22:20）の利用者が多い。

上り便



下り便

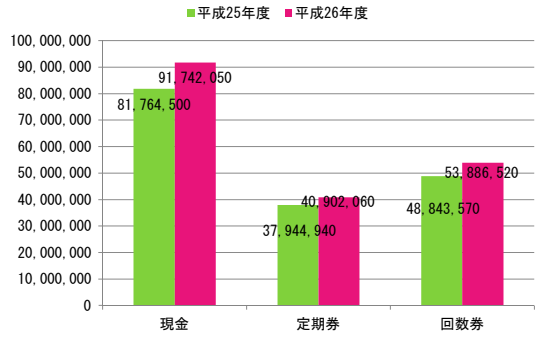


3

1.3 つくバス 平成26年度 運賃支払い形態比較

（円）

●平成25年度と平成26年度の運賃支払い方法を比較すると，各支払形態とも増加しており，増加分のうち，定期券及び回数券による支払いが50.7%を占めている。安定して利用する人が増加しているため，定期券及び回数券の販売が伸びている。



（円）

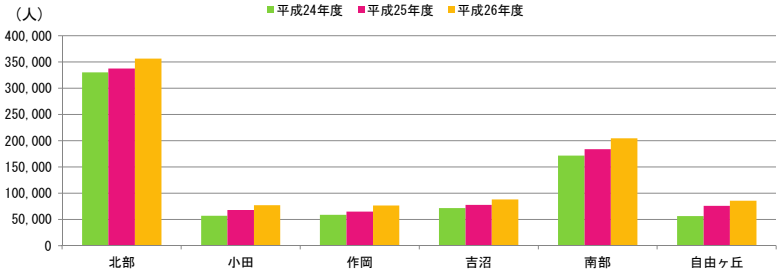
	現金	定期券	回数券	合計
平成25年度	81,764,500	37,944,940	45,976,400	168,608,800
	48.5%	22.5%	27.3%	100.0%
平成26年度	91,742,050	40,902,060	53,886,520	186,831,070
	49.1%	21.9%	28.8%	100.0%
			50.7%	
比較増減	9,977,550	2,957,120	7,910,120	18,222,270
	55.5%	16.4%	28.1%	100.0%

4

1.4 つくバス 平成26年度路線別利用者数推移

●対25年度比較をすると，全体としては増加率10.1%をマークし，平成24年度から平成25年度にかけての増加率の伸びよりも高くなっている。
●利用者数の増加が高いのは，南部シャトルの20,000人，北部シャトルの19,000人となる。全ての路線で，10,000人からそれ以上の利用者増加となっている。

つくバス 路線別年度別利用者推移



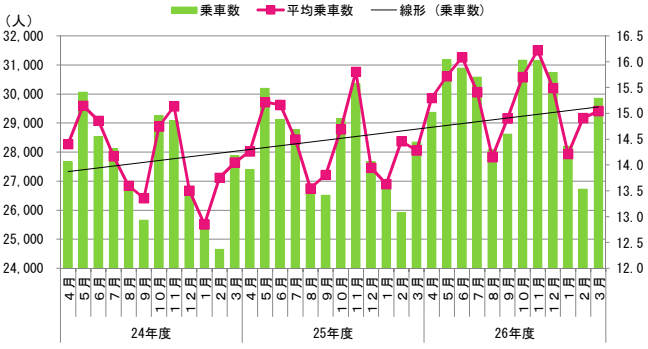
	北部	小田	作岡	吉沼	南部	自由ヶ丘	合計
平成24年度	330,125	57,007	58,421	71,449	171,528	56,001	744,531
平成25年度	337,321	67,658	64,540	77,493	183,802	75,756	806,570
平成26年度	356,530	76,981	76,182	88,243	204,442	85,654	888,032
対24年度増減	7,196	19,974	6,119	6,044	12,274	19,755	62,039
対24年度増加率	2.2%	18.7%	10.5%	8.5%	7.2%	35.3%	8.3%
対25年度増減	19,209	9,323	11,642	10,750	20,640	9,898	81,462
対25年度増加率	5.7%	13.8%	18.0%	13.9%	11.2%	13.1%	10.1%

5

1.5　北部シャトル　利用状況

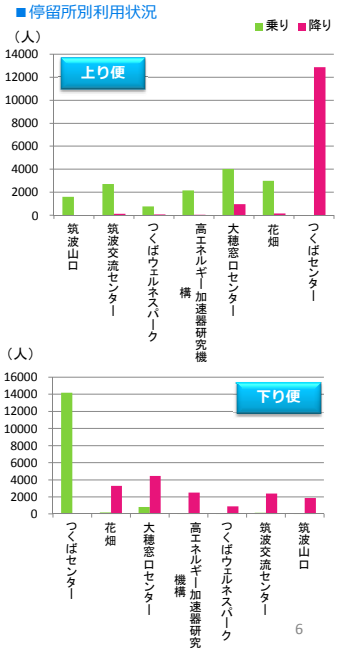
●全ての月において利用者数が前年に比較して増加している。
●夏季は利用者が減少する（通勤・通学による利用者減少）傾向にあるが，利用者総数としては増加している。
●混雑状況の平均としては，着席時乗車率は61%となり，通勤・通学の時間帯を主に利用者が集中している。

1月当たりの平均乗車数	1便当たりの平均乗車数
29710人	15.3人



乗車状況	24年度	25年度	26年度
着席時乗車数(26人)	57%	58%	61%
総乗車数(56人)	24%	25%	26%

■停留所別利用状況



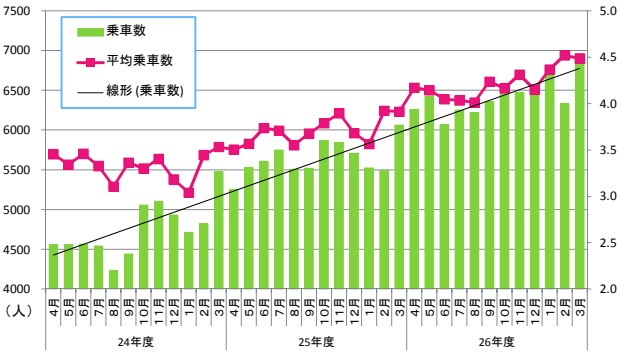
6

1.5　小田シャトル　利用状況

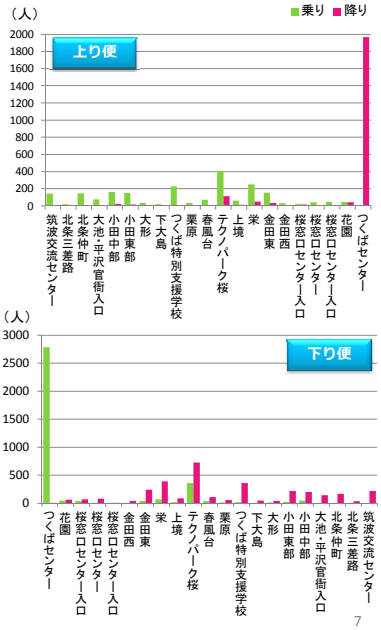
●全ての月において利用者数が前年度に比較して増加している。平成26年度は，平均して１便当たり４人乗車している。つくば特別支援学校の通学にも利用されている。
●上り便では，ほぼ全ての乗客がつくばセンターまで乗車している。小田地区，テクノパーク桜，栄付近からの乗車が多い。
●下り便では，つくばセンターから乗車し，栄付近，テクノパーク桜，小田地区での下車が多い。

1月当たりの平均乗車数	1便当たりの平均乗車数
6415人	4.2人

■月別乗車数及び１便当たりの乗車数



■停留所別利用状況



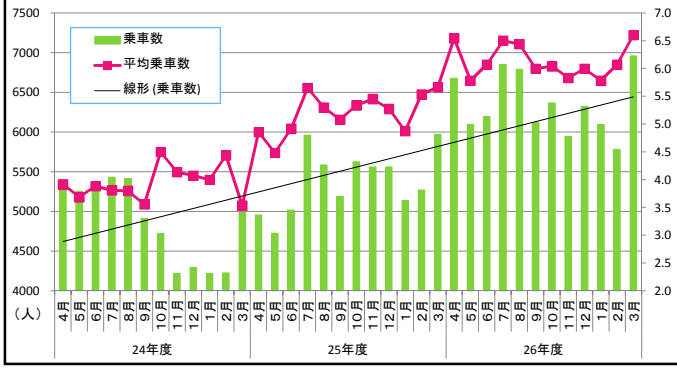
7

1.5 作岡シャトル 利用状況

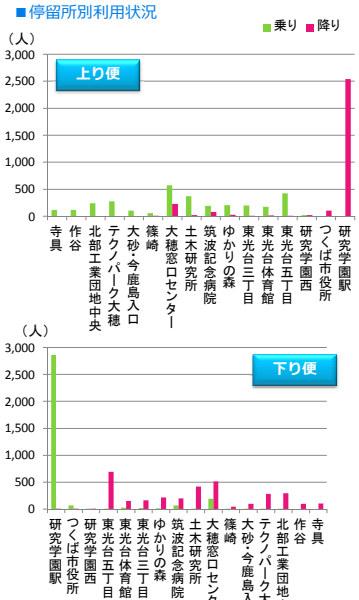
●全ての月において利用者数が前年度に比較して増加している。平成26年度は，平均して１便当たり５人乗車している。
●平成24年度に路線変更をして設置した，大穂窓口センター前，土木研究所，記念病院の利用も定着している。
●上り便では，ほぼ全ての乗客が研究学園駅まで乗車している。大穂窓口センター，土木研究所，記念病院，東光台からの乗車が多い。下り便では，研究学園駅から乗車し，東光台5丁目，土木研究所，大穂窓口センターでの下車が多い。上り，下りとも同じ停留所の利用者が多いことから，通勤・通学のための駅までの移動手段として利用されていると考えられる。

１月当たりの平均乗車数	１便当たりの平均乗車数
6349人	6.1人

■月別乗車数及び１便当たりの乗車数



■停留所別利用状況

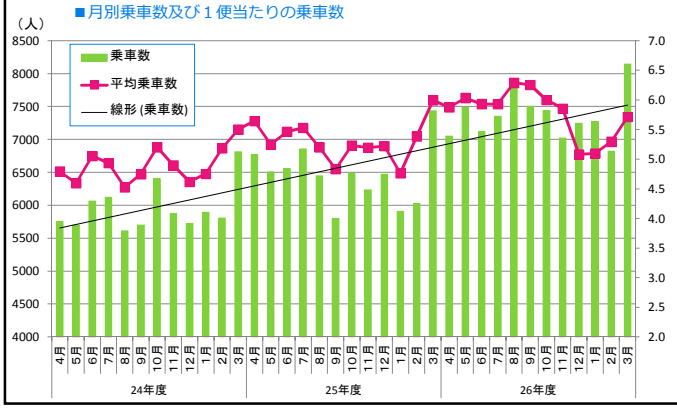


1.5 吉沼シャトル 利用状況

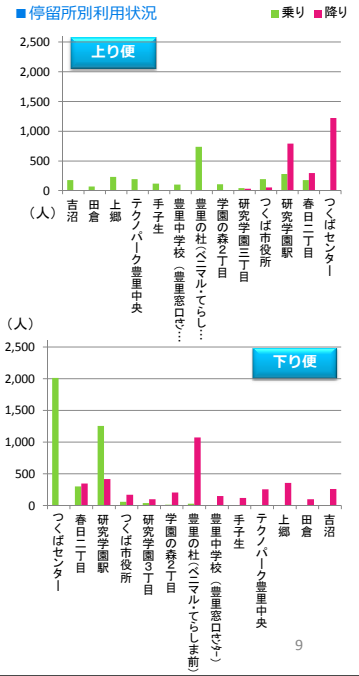
●全ての月において利用者数が前年度に比較して増加している。平成26年度は，平均して１便当たり5.8人乗車している。
●上り便では，研究学園駅またはつくばセンターまで乗車している。豊里の杜からの乗車が多い。下り便では，つくばセンターまたは研究学園駅から乗車し，豊里の杜での下車が多い。上り，下りとも同じ停留所の利用者が多いことから，通勤・通学のための駅までの移動手段として利用されていると考えられる。
●春日二丁目での乗降は，春日学園への通学に利用されているものである。

１月当たりの平均乗車数	１便当たりの平均乗車数
7453人	5.8人

■月別乗車数及び１便当たりの乗車数



■停留所別利用状況

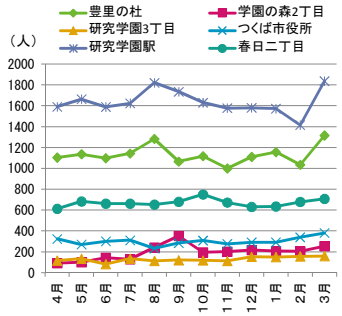


1.5 吉沼シャトル 平成26年12月ダイヤ改正後の利用状況

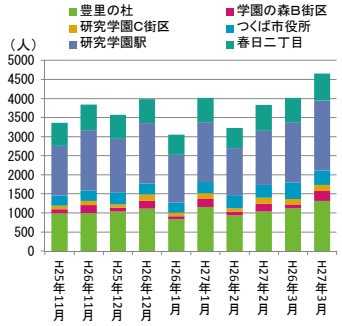
●利用者数の前月比では，大きな動きはない。平成27年3月の「研究学園駅」からの乗車数は増加した。
●前年同月比を見ると，1日当たりの利用者数が増加しているため，増便の効果が出ていると推測される。引き続き状況を注視していく。

平成26年度 月別停留所別利用者数

停留所	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
豊里の杜	1104	1136	1098	1143	1283	1066	1117	1000	1110	1156	1035	1316	13564
学園の森2丁目	92	101	143	129	241	353	195	202	217	209	206	255	2343
研究学園3丁目	117	134	83	134	114	121	119	113	153	151	157	160	1556
つくば市役所	324	271	301	311	233	284	309	277	291	291	340	381	3613
研究学園駅	1591	1664	1589	1624	1821	1735	1631	1578	1581	1573	1415	1837	19639
春日二丁目	613	683	662	662	653	680	750	673	631	635	679	708	8029



停留所	H25年11月	H26年11月	H25年12月	H26年12月	H26年1月	H27年1月	H26年2月	H27年2月	H26年3月	H27年3月
豊里の杜	985	1,000	1,037	1,110	835	1,156	941	1,035	1,120	1,316
学園の森2丁目	108	202	104	217	81	209	86	206	101	255
研究学園3丁目	94	113	84	153	86	151	94	157	143	160
つくば市役所	273	277	317	291	274	291	342	340	438	381
研究学園駅	1,295	1,578	1,397	1,581	1,244	1,573	1,240	1,415	1,580	1,837
春日二丁目	611	673	630	631	532	635	527	679	635	708
合計	3,366	3,843	3,569	3,983	3,052	4,015	3,230	3,832	4,017	4,657
１日当たりの利用者数	112.2	128.1	115.1	128.5	98.5	129.5	115.4	136.9	129.6	150.2
１便当たりの利用者数	2.8	3.2	2.9	2.8	2.5	2.8	2.9	3.0	3.2	3.3

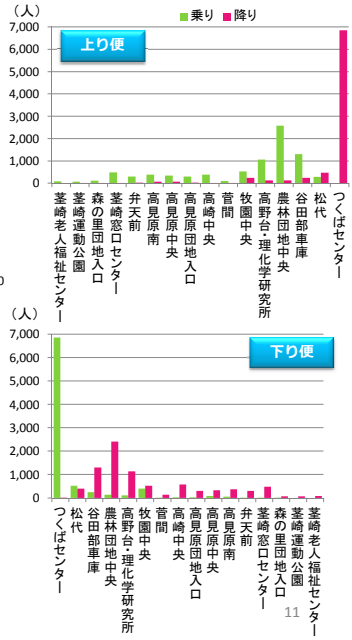


1.5 南部シャトル 利用状況

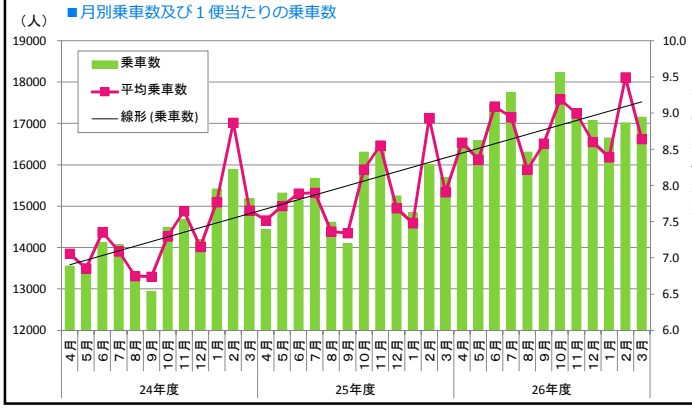
●全ての月において利用者数が前年度に比較して増加している。平成26年度は，平均して１便当たり7.9人乗車している。
●上り便では，ほぼ全ての乗客がつくばセンターまで乗車している。高野台，農林団地，谷田部車庫からの乗車が多い。下り便では，つくばセンターから乗車し，谷田部車庫，農林団地中央，高野台での下車が多い。上り，下りとも同じ停留所の利用者が多いことから，通勤・通学のための駅までの移動手段として利用されていると考えられる。
●谷田部地区からの乗車が多く，茎崎地区方面から乗車してくる人数は少ない傾向にある。つくばセンターまでの移動時間が長いため，利用しにくい可能性がある。

１月当たりの平均乗車数	１便当たりの平均乗車数
17037人	8.8人

■停留所別利用状況



■月別乗車数及び１便当たりの乗車数

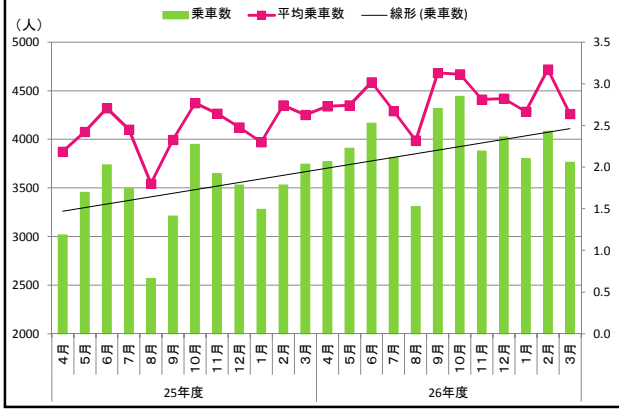


1.5 自由ヶ丘シャトル（谷田部） 利用状況

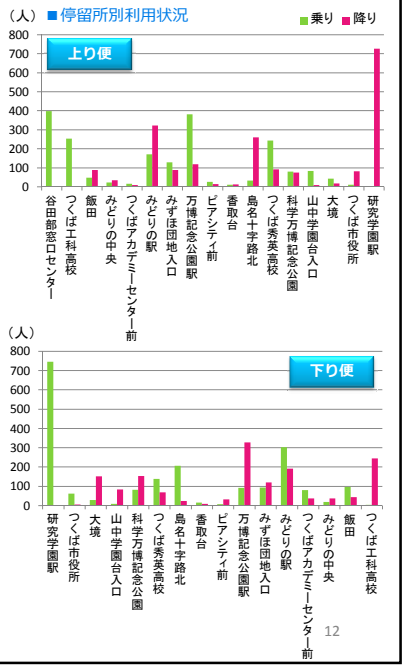
●全ての月において利用者数が前年度に比較して増加している。平成26年度は，平均して１便当たり2.6人乗車している。全体として利用が低迷している。
●上り便では，みどりの駅と研究学園駅が降車場所となっている。島名十字路北は，島名小の通学に利用されている。下り便では，研究学園駅とみどりの駅からの乗車及び万博記念公園駅での降車が多い。
●駅間の移動はTXで対応ができること，西部工業団地等の企業は送迎バスを運行していることなどから，通勤・通学等での利用が少ないため，利用者が伸び悩んでいる。

１月当たりの平均乗車数	１便当たりの平均乗車数
3940 人	2.6人

■月別乗車数及び１便当たりの乗車数



■停留所別利用状況

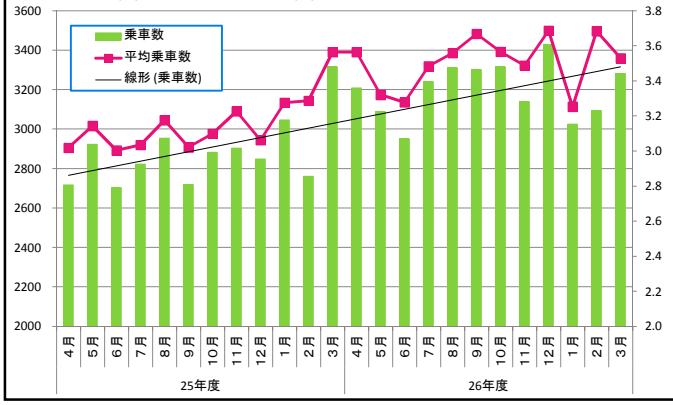


1.5 自由ヶ丘シャトル（茎崎） 利用状況

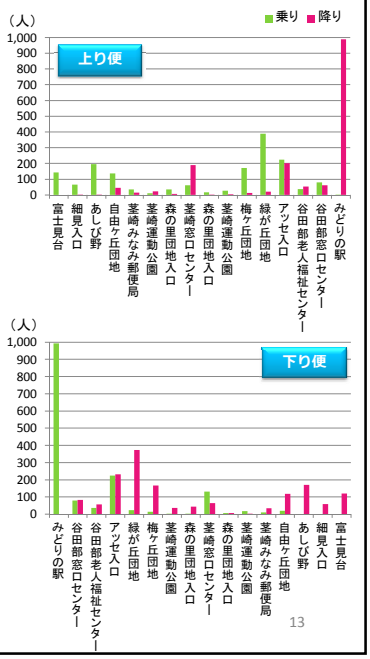
●利用者総数は前年度に比較して増加している。平成26年度は，平均して１便当たり３人乗車している。
●上り便では，茎崎窓口センター，アッセ入り口，みどりの駅までの乗車が多い。下り便では，みどりの駅から乗車し，緑が丘団地等の各団地での下車が多い。茎崎地区とみどりの駅間の利用に使われている。
●みどりの駅前の駐車料金が安価であることが，バス利用の判断に影響していると考えられる。

１月当たりの平均乗車数	１便当たりの平均乗車数
3198 人	3.5人

（人） ■月別乗車数及び１便当たりの乗車数

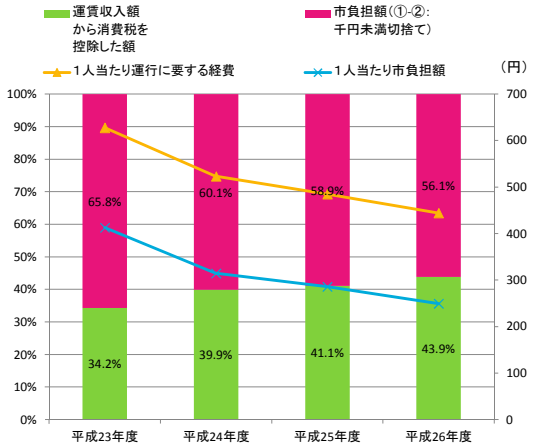


■停留所別利用状況



2.1 つくバス 全体収支状況

●運行に要する経費の総額は例年どおりであった。ただし，つくバスドライバーの休憩施設の整備等に関連する経費として300万円増加している。
●利用者増加に伴い運賃収入が増加し，運賃収入が運行に要する経費に占める割合が高まりつつある。平成26年度は43.9%まで上がっている。平成23年度に比較すると，10%程度上昇している。
●1人当たりに運行に要する経費及び市負担額は減少しつつある。経営状況としてはよい方向に進みつつある。



年度	運行経費額	運賃収入額から消費税を控除した額		市負担額		1人当たり運行に要する経費	1人当たり市負担額
平成23年度	388,673,000	133,077,000	34.2%	255,596,000	65.8%	627.5	412.6
平成24年度	389,453,000	155,367,000	39.9%	234,086,000	60.1%	523.1	314.4
平成25年度	391,054,000	160,582,000	41.1%	230,472,000	58.9%	484.8	285.7
平成26年度	394,393,000	172,993,000	43.9%	221,400,000	56.1%	444.1	249.3

14

2.2 つくバス 路線別収支状況

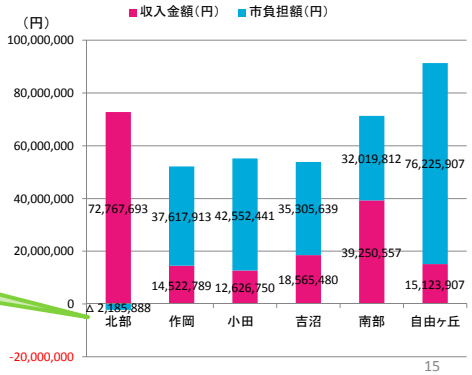
●北部シャトルの収支状況は安定している。運行経費の全てを収入金額で確保できている。
●自由ヶ丘シャトルの収支状況が厳しい。さらなる利用促進に努めていく必要がある。

	全路線	北部	作岡	小田	吉沼	南部	自由ヶ丘
利用人数（人）	888,042	356,530	76,182	76,991	88,243	204,442	85,654
収入金額（円）	172,857,176	72,767,693	14,522,789	12,626,750	18,565,480	39,250,557	15,123,907
運行経費（円）	394,393,000	70,581,805	52,140,702	55,179,191	53,871,119	71,270,369	91,349,814
市負担額（円）	221,535,824	△ 2,185,888	37,617,913	42,552,441	35,305,639	32,019,812	76,225,907
1人に対する市負担額（円）	249	△ 6	494	553	400	157	890

北部シャトル収支状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用人数（人）	330,125	337,321	356,530
収入金額（円）	71,961,486	70,672,942	72,767,693
運行経費（円）	69,277,896	69,958,784	70,581,805
市負担額（円）	△ 2,683,590	△ 714,158	△ 2,185,888
1人に対する市負担額(円)	△ 8	△ 2	△ 6

北部シャトルの黒字額は，約220万円である。平成25年度より大きく伸びた。



15

資料２－５

平成26年度

つくタクの利用実績

平成27年5月29日

つくば市　まちづくり推進部　交通政策課

Contents

1　利用実績
1.1　つくタク　利用者数推移
1.2　つくタク　地区別利用状況
1.3　つくタク　相乗り率の推移
1.4　つくタク　車両運行稼働率
1.5　つくタク　時間帯別利用状況
1.6　つくタク　予約お断り件数推移
1.7　つくタク　予約キャンセル件数推移
1.8　つくタク　応援運行便数推移
1.9　つくタク　乗降場所管理

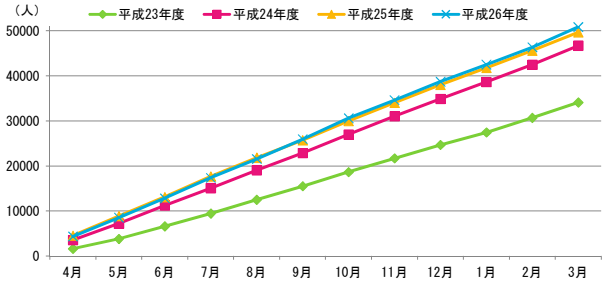
2　経費
2.1　つくタク　全体収支状況

1

1.1 つくタク　利用者数推移

●全体として平成25年度とほぼ同じペースで利用者が増加しつつある。平成26年度末で，年間利用者数が50,865人となる。
●年度前半は利用者が伸び悩んだが，後半で利用増加になった。

＊グラフは毎月の利用者の累積値で作成



年度別月別利用者数

	平成23年度	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	利用者（人）	利用者（人）	前年比増減（人）	前年同月比	利用者（人）	前年比増減（人）	前年同月比	利用者（人）	前年比増減（人）	前年同月比
4月	1,643	3,567	1,924	217.1%	4,559	992	127.8%	4,347	-212	95%
5月	2,171	3,668	1,497	169.0%	4,305	637	117.4%	4,181	-124	97%
6月	2,795	4,016	1,221	143.7%	4,251	235	105.9%	4,298	47	101%
7月	2,843	3,846	1,003	135.3%	4,558	712	118.5%	4,558	0	100%
8月	3,062	3,979	917	129.9%	4,174	195	104.9%	4,174	0	100%
9月	2,994	3,805	811	127.1%	3,862	57	101.5%	4,401	539	114%
10月	3,148	4,101	953	130.3%	4,284	183	104.5%	4,660	376	109%
11月	3,047	4,064	1,017	133.4%	4,021	-43	98.9%	4,007	-14	99.7%
12月	2,985	3,862	877	129.4%	3,990	128	103.3%	4,095	105	102.6%
1月	2,772	3,733	961	134.7%	3,776	43	101.2%	3,777	1	100.0%
2月	3,231	3,841	610	118.9%	3,835	-6	99.8%	3,839	4	100.1%
3月	3,429	4,238	809	123.6%	4,068	-170	96.0%	4,528	460	111.3%
合計	34,120	46,720	12,600	136.9%	49,683	2,963	106.3%	50,865	1,182	102.4%

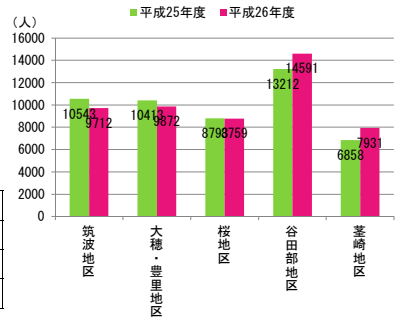
2

1.2 つくタク　地区別利用状況（1/2）

地区別利用状況年度比較

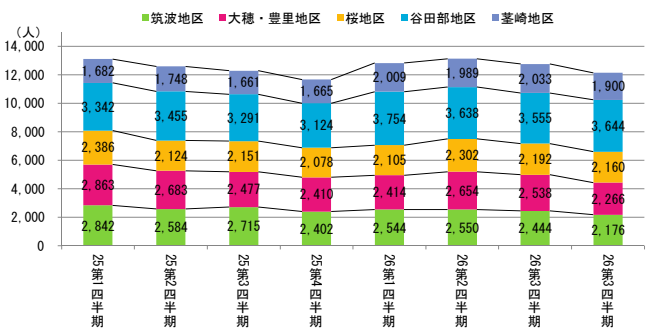
●平成25年度と平成26年度の地区別利用者数を比較すると，筑波地区，では831人，大穂・豊里地区では541人と，利用者数が減少している。
●谷田部地区及び茎崎地区では，谷田部地区が1,379人，茎崎地区が1,073人と，利用者が増加している。

	筑波地区	大穂・豊里地区	桜地区	谷田部地区	茎崎地区
平成25年度	10,543	10,413	8,793	13,212	6,858
平成26年度	9,712	9,872	8,759	14,591	7,931
対前年度増減	-831	-541	-34	1,379	1073



四半期地区別利用状況

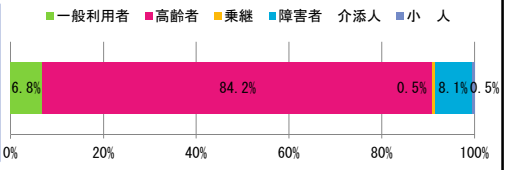
●四半期別利用者数は，第２から第4四半期において，平成25年度に比較して増加傾向にある。
●谷田部地区及び茎崎地区では全四半期とも平成25年度に比較して増加している。



3

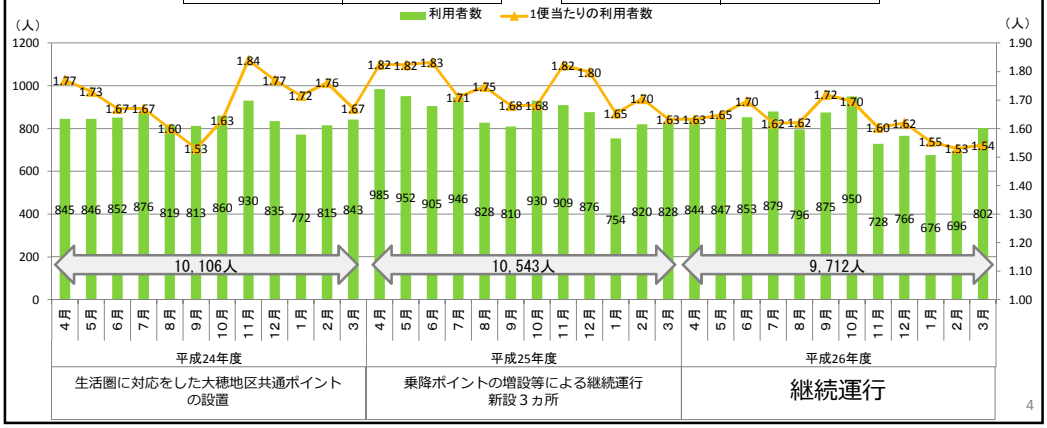
1.2　地区別利用状況　筑波地区（1/2）

●年間総利用者数は，9,712人となる。平成25年度に比較して，減少した。(年間総数831人減，1日平均3.4人減)
年度後半の利用者が減少傾向にあった。
●平成26年度の各月平均利用者数は803人，１便当たりの利用者数は1.6人となっている。
●利用者層としては，84.2%が高齢者，障害者が8.1%を占めている。



平成25年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
878.6	1.7

平成26年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
809.3	1.6

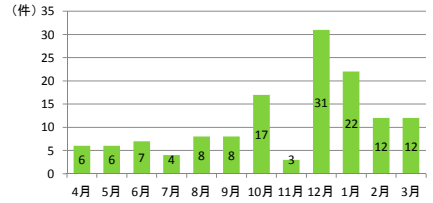


4

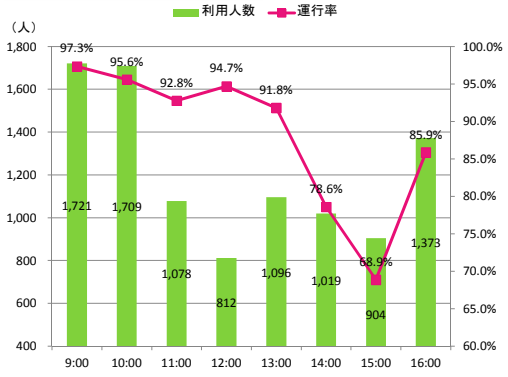
1.2　筑波地区（2/2）

●予約お断り件数は，年間通して136件程度あり，1日当たり11.3件となる。年度後半が増加傾向にある。時間帯別の状況としては，9:00～11:00が特に多い傾向である。午前中の通院等における利用において，需要量に対し，供給量が不足していると考えられる。
●時間帯別の利用人数は，9:00～10:00台が多い。運行率もほぼ午前中は90%台の推移となっている。14:00～15:00は，利用者数及び運行率が下がっているが若干予約お断りが発生しているため，効率的な運行を実施することで，予約お断り件数の削減に努める。

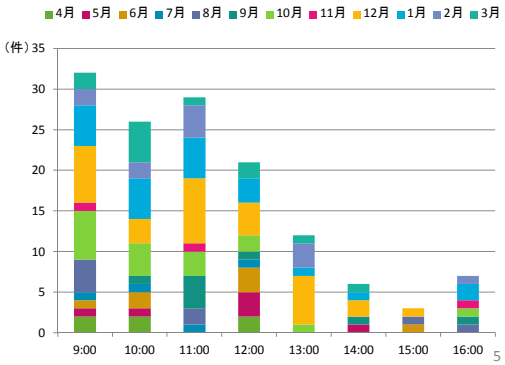
月別予約お断り件数



時間帯別利用人数と運行率



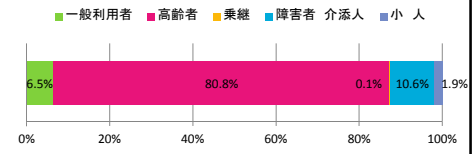
時間帯別予約お断り件数



5

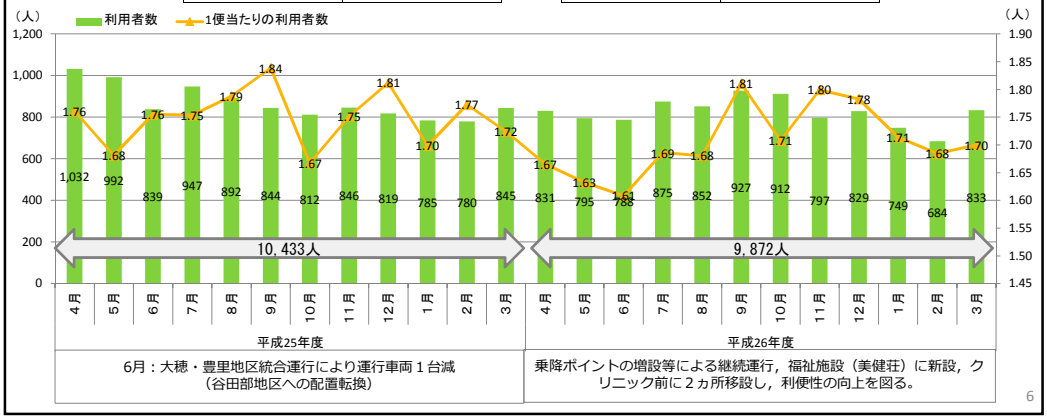
1.2　地区別利用状況　大穂・豊里地区(1/2)

●年間総利用者数は，9,872人となる。平成25年度に比較して，減少した。(年間総数561人減，1日平均2.2人減)
年度前半の利用者が減少傾向にあった。
●平成26年度の各月平均利用者数は822人，１便当たりの利用者数は1.6人となっている。
●利用者層としては，80.8%が高齢者，障害者が10.6%を占めている。



平成25年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
869.4	1.8

平成26年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
822.7	1.7



6月：大穂・豊里地区統合運行により運行車両１台減
（谷田部地区への配置転換）

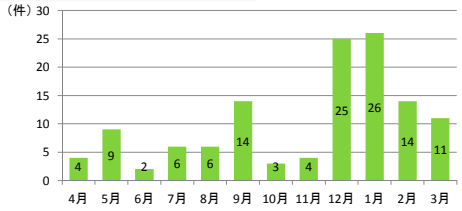
乗降ポイントの増設等による継続運行，福祉施設（美健荘）に新設，クリニック前に２ヵ所移設し，利便性の向上を図る。

6

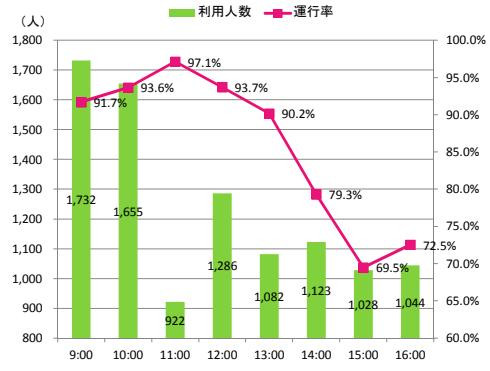
1.2　大穂・豊里地区(2/2)

●予約お断り件数は，年間通して124件程度あり，1月当たり10.3件となる。12月，1月が多かった。時間帯別の状況としては，10:00～12:00が多く，医療機関へ通院等の利用である。
●時間帯別の利用人数は，9:00～10:00台が多い。運行率もほぼ午前中は90%台の推移となっている。11:00台がお断り数が多いため，車両の休憩時間等を調整し，供給量の拡大について検討をする。
●14:00以降は運行率が低下しているため，配車を工夫して，お断り件数の減少に努める必要がある。

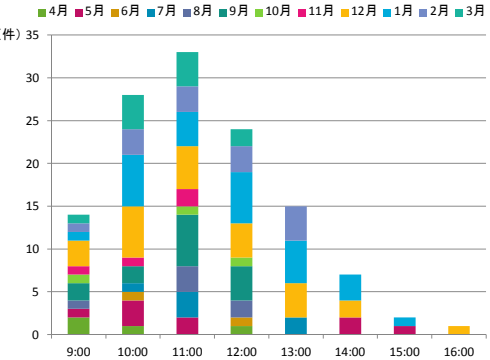
月別予約お断り件数



時間帯別利用人数と運行率



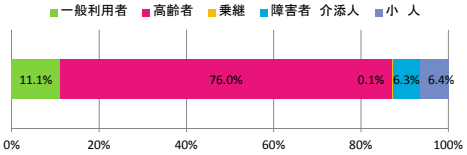
時間帯別予約お断り件数



7

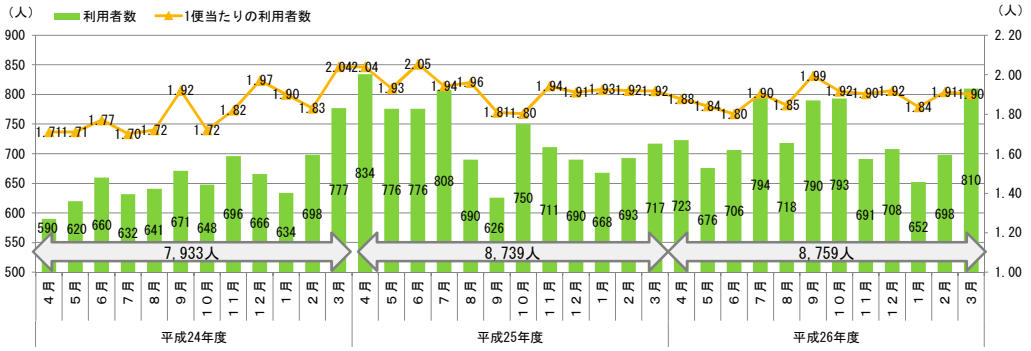
1.2　地区別利用状況　桜地区(1/2)

●年間総利用者数は，8,759人となる。平成25年度に比較して，ほぼ横ばいである。
●平成26年度の各月平均利用者数は729人，１便当たりの利用者数は1.9人となっている。
●利用者層としては，76.0%が高齢者，障害者が6.3%を占めている。



平成25年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
729.9	1.9

平成26年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
828.3	1.9



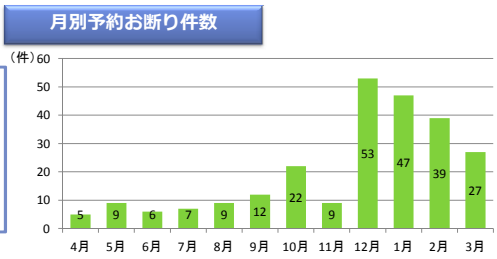
継続運行	継続運行	乗降ポイントの増設等による継続運行，福祉施設前に３カ所新設

8

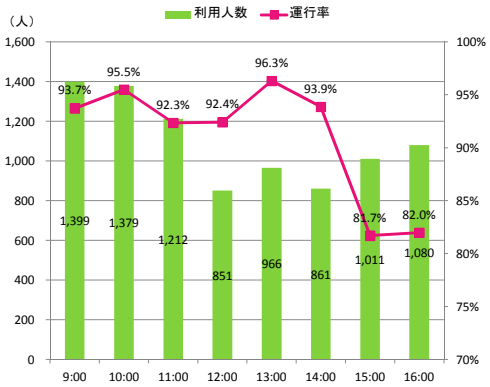
1.2　桜地区(2/2)

●予約お断り件数は，年間通して245件程度あり，1月当たり20.4件となる。12月，1月，２月が多い。時間帯別の状況としては，９:00～13:00が多い。
●時間帯別の利用人数は，9:00～11:00台が多い。運行率は，14:00まで90%台の推移となっている。供給量の拡大が必要である。
●14:00以降は運行率が80%台に低下するため，配車を工夫して，お断り件数の減少に努める必要がある。

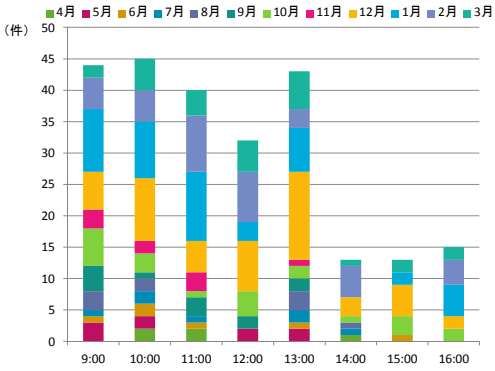
月別予約お断り件数



時間帯別利用人数と運行率



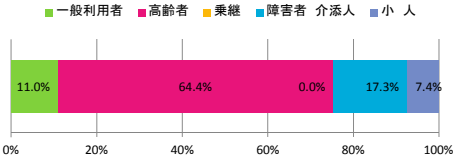
時間帯別予約お断り件数



9

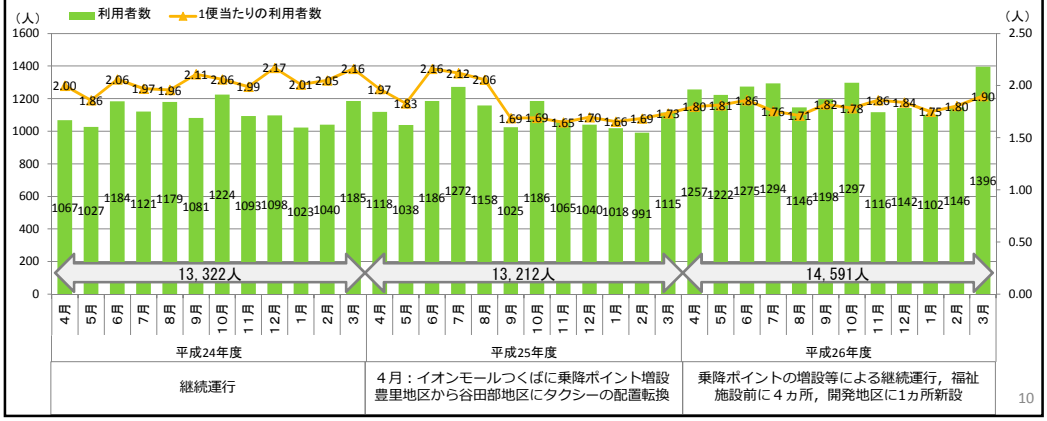
1.2　地区別利用状況　谷田部地区（1/2）

●年間総利用者数は，14,591人となる。平成25年度に比較して増加した。（年間総数1,379人増，1日平均5.6人増)全ての月において利用者数が増加している。
●平成26年度の各月平均利用者数は1,215人，１便当たりの利用者数は1.8人となっている。
●利用者層としては，64.6%が高齢者，障害者が17.3%を占めている。



平成25年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
1,101	1.8

平成26年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
1215.9	1.8



継続運行

4月：イオンモールつくばに乗降ポイント増設
豊里地区から谷田部地区にタクシーの配置転換

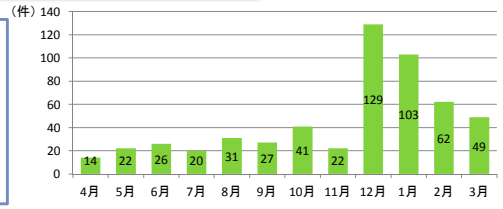
乗降ポイントの増設等による継続運行，福祉施設前に4ヵ所，開発地区に1ヵ所新設

10

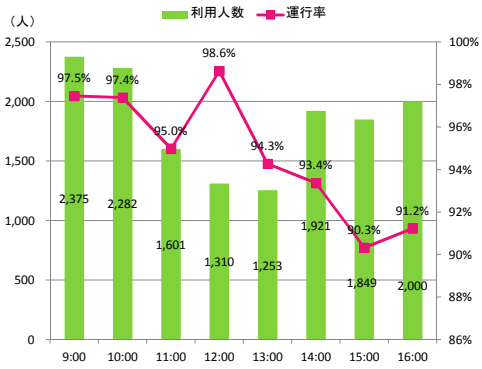
1.2　谷田部地区（2/2）

●予約お断り件数は，年間通して546件あり，1月当たり45.5件である。年度後半が多い。時間帯別の状況としては，10:00～12:00が多い。
●時間帯別の利用人数は，9:00～10:00台及び14:00～16:00台が多い。運行率は，常時90%台の推移となっている。12:00台の運行がかなり厳しい状況であるため，14:00台と調整して，配車台数の確保を検討する必要がある。
●全体としてさらなる供給量の拡大が必要であるため，効率的な運行を検討する必要がある。

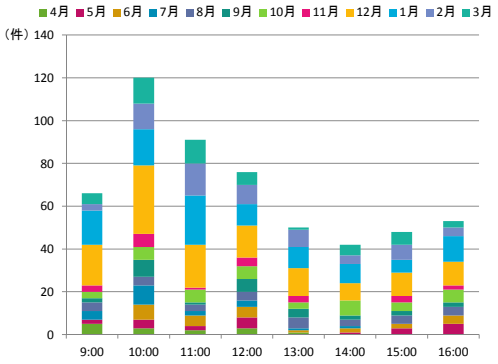
月別予約お断り件数



時間帯別利用人数と運行率



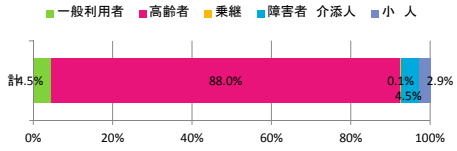
時間帯別予約お断り件数



11

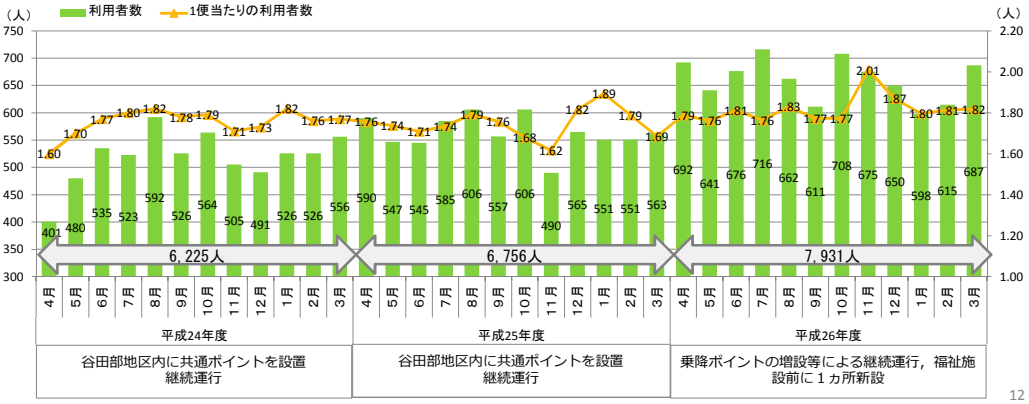
1.2　地区別利用状況　茎崎地区（1/2）

●年間総利用者数は，7,931人となる。平成25年度に比較して増加した。（年間総数1,175人増，1日平均4.8人増）
●平成26年度の各月平均利用者数は660人，１便当たりの利用者数は1.8人となっている。
●利用者層としては，88.0%が高齢者，障害者が4.5%を占めている。



平成25年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
563.0	1.7

平成26年度	
各月平均利用者数	1便当たりの利用者数
660.9	1.8

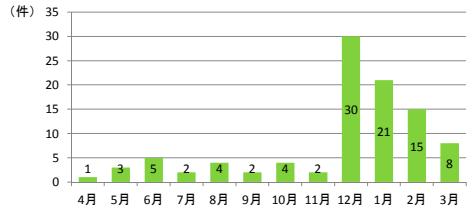


12

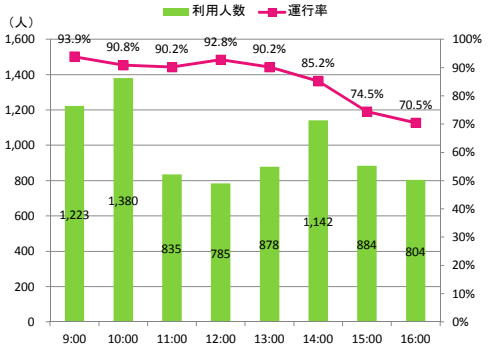
1.2　茎崎地区（2/2）

●予約お断り件数は，年間通して97件あり，1月当たり8.1件である。時間帯別の状況としては，10:00～11:00が多い。
●時間帯別の利用人数は，9:00～10:00台と14:00台が多い。運行率は，13:00台までは，90%台の推移となっている。
●14:00台以降は，運行率が低下しつつあるので，効率的に配車をし，予約お断り件数の削減に努める必要がある。

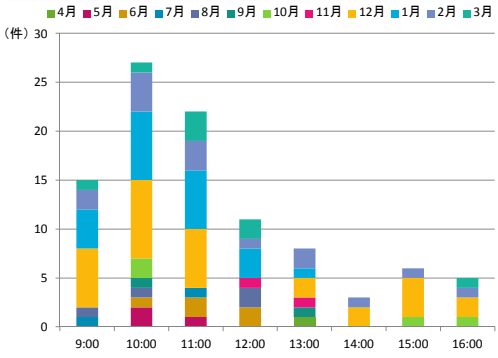
月別予約お断り件数



時間帯別利用人数と運行率



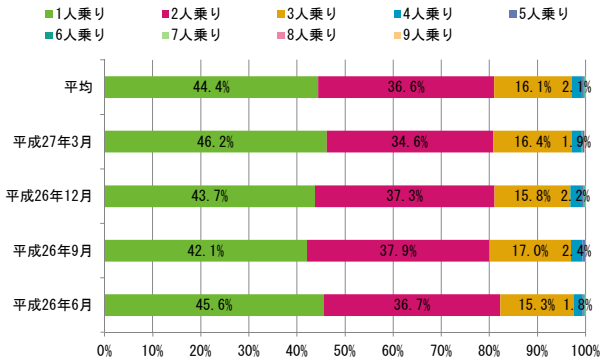
時間帯別予約お断り件数



13

1.3 つくタク 相乗り率の推移

●効率的に配車をすることで，利用者の相乗りが図られている。複数乗車をしている割合が，年間平均で56%を占めており，安定して複数乗車がされている。
●なお，複数乗車でも２～３人乗車のパターンが大半を占めている。ジャンボタクシーを６台運行しているが，１回において，５人以上利用するパターンは少ない傾向にある。

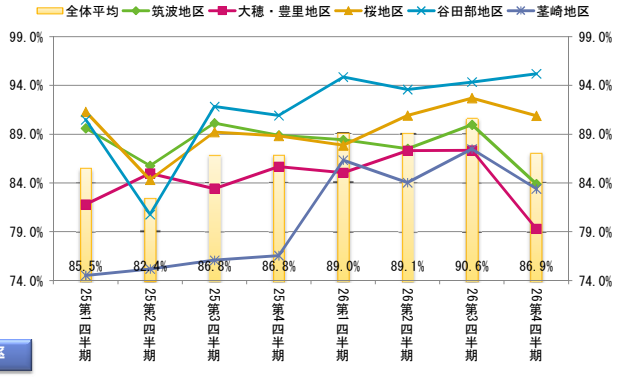


	1人乗り	2人乗り	3人乗り	4人乗り	5人乗り	6人乗り	7人乗り	8人乗り	9人乗り	合計
平成26年６月	45.6%	36.7%	15.3%	1.8%	0.4%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%
平成26年９月	42.1%	37.9%	17.0%	2.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	100.0%
平成26年12月	43.7%	37.3%	15.8%	2.2%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
平成27年３月	46.2%	34.6%	16.4%	1.9%	0.3%	0.3%	0.1%	0.2%	0.0%	100.0%
平均	44.4%	36.6%	16.1%	2.1%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	100.0%
		52.8%								
		55.6%								

14

1.4 つくタク 運行稼働率推移

●運行稼働率の１年間平均は88.9%を占めている。全ての期において，前年度よりも高い傾向にある。効率的に配車がされ，運行している。
●特に，谷田部地区及び茎崎地区は平成26年度に利用者数が伸びたため，相対的に運行稼働率が上昇している。



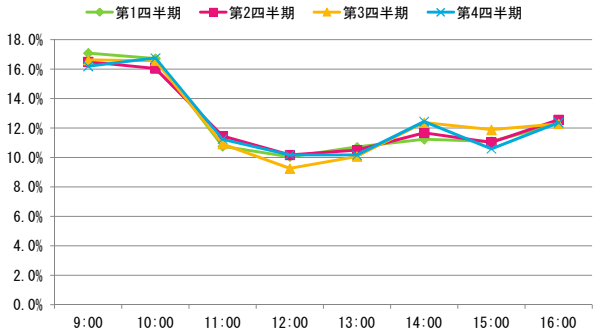
地区別四半期別1月あたり運行稼働率

区分	運行日数	筑波地区	大穂・豊里地区	桜地区	谷田部地区	茎崎地区	全体平均
25第1四半期	62	89.6%	81.8%	91.3%	90.5%	74.5%	85.5%
25第2四半期	63	85.8%	85.0%	84.3%	80.8%	75.2%	82.4%
25第3四半期	58	90.1%	83.4%	89.2%	91.8%	76.1%	86.8%
25第4四半期	61	88.9%	85.7%	88.8%	90.9%	76.5%	86.8%
26第1四半期	62	88.4%	85.1%	87.9%	94.9%	86.3%	89.0%
26第2四半期	63	87.5%	87.3%	90.9%	93.6%	84.0%	89.1%
26第3四半期	59	90.0%	87.3%	92.7%	94.3%	87.5%	90.6%
26第4四半期	60	83.9%	79.3%	90.9%	95.2%	83.4%	86.9%

15

1.5 つくタク 時間帯別利用状況推移（1/2）

●全ての期において，9:00～10:00の利用者が多く，次いで14:00～16:00が多い傾向にある。
●全体としては，1年間通して利用される時間帯は同じ傾向にある。
●午前中の早い時間帯の利便性を向上させるために，つくタク１台における１時間あたりの運便数の増加を検討する必要がある。



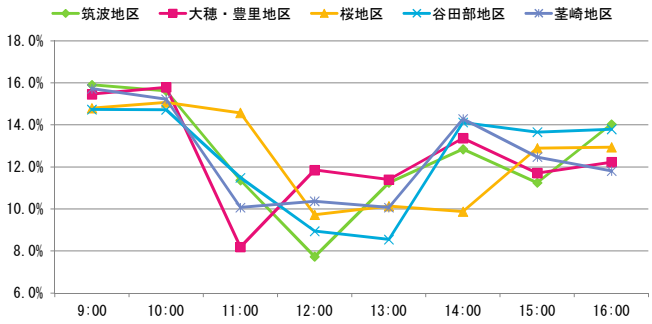
四半期時間帯別利用者状況

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
第1四半期	17.1%	16.7%	10.8%	10.1%	10.7%	11.2%	11.1%	12.3%
第2四半期	16.5%	16.1%	11.5%	10.2%	10.5%	11.7%	11.0%	12.6%
第3四半期	16.6%	16.6%	10.9%	9.3%	10.1%	12.4%	11.9%	12.3%
第4四半期	16.2%	16.8%	11.3%	10.2%	10.2%	12.4%	10.6%	12.4%

16

1.5 つくタク 時間帯別利用状況推移（2/2）

●全地区とも午前10時までの利用が30%程度占めている。
●朝以外の利用時間のピークは，地区ごとに若干分散しているため，主たる利用目的及び目的地等の差違が出ているようである。



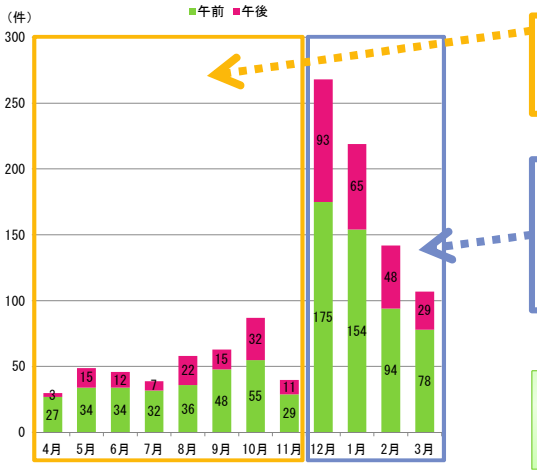
地区別時間帯別利用者状況

地区名	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
筑波	15.9%	15.6%	11.4%	7.7%	11.3%	12.8%	11.3%	14.0%
大穂・豊里	15.5%	15.8%	8.2%	11.9%	11.4%	13.4%	11.7%	12.2%
桜	14.8%	15.1%	14.6%	9.7%	10.1%	9.9%	12.9%	12.9%
谷田部	14.7%	14.7%	11.5%	8.9%	8.6%	14.1%	13.7%	13.8%
茎崎	15.7%	15.2%	10.1%	10.4%	10.1%	14.3%	12.5%	11.8%

17

1.6 つくタク 予約お断り件数推移

●1年間通して予約お断りは発生しており，年間で1,148件，月平均95.7件となっている。特に，12月のお断り件数が多く268件あった。
●お断りの多い時間帯としては，9:00～13:00帯となる。午前中の便の充実をはかることを検討する必要がある。



○予約お断り件数カウント方法について

【４月から11月まで】
・9:00の予約を希望しており，9:00のみとれず，10:00も取れない場合でも１回とカウントする。
・予約お断りをした人数はカウントしない。

【12月以降】
・9:00の予約を希望しており，9:00がとれず10:00も取れない場合には，2回とカウントする。
・１回の予約お断りで，複数人のお断りが発生していた可能性があるため，予約を希望していた人の氏名，人数も把握する。

予約お断り件数について，詳細を把握するようにし，予約お断り数の減少に向けて，施策を展開していく。

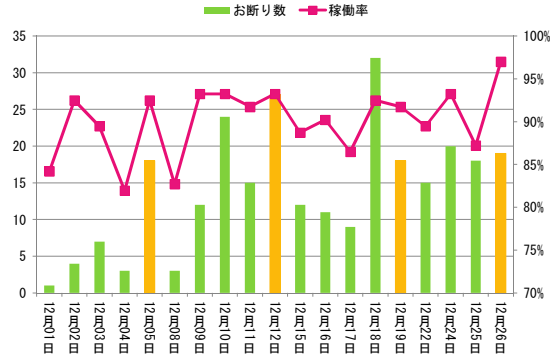
18

1.6 つくタク 予約お断り件数（12月）について

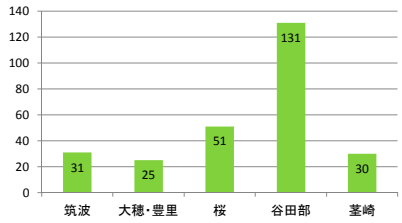
●金曜日に予約お断りが多い傾向にある。第4週は平均してお断り件数が多かった。年末年始前の医療機関通院等のニーズが多い傾向にあったと推測される。
●お断り件数が多い日も，つくタクの稼働率は90%以上を占めている。需要量に対し，供給量が不足している傾向にあると推測される。

1日当たりのお断り件数平均	1日当たりのお断り件数が1日当たりの便数に占める割合
14.1回	9.5%

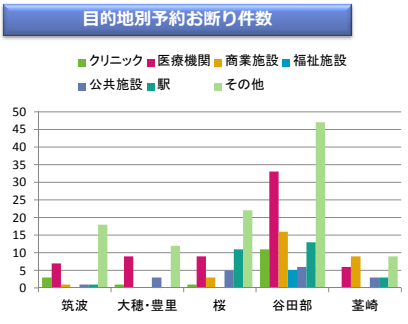
日にち別予約お断り件数とつくタク稼働率



地区別予約お断り件数



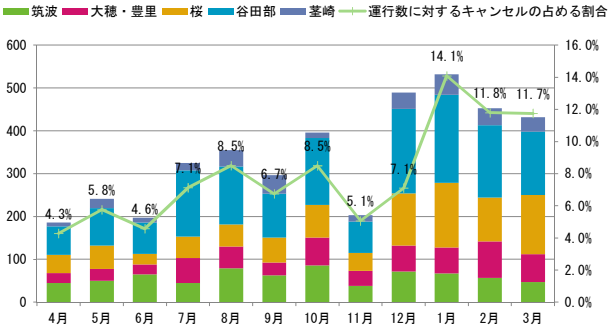
目的地別予約お断り件数



19

1.7 つくタク 予約キャンセル件数推移

●キャンセルは，年間通して4,106件あり，月平均は342.2件となる。利用者数に対するキャンセルの占める割合は7.9%となる。なお，1月は最もキャンセル数が多く，利用者数の対して占める割合が14.1%となっている。
●キャンセルが多いのは，谷田部地区，桜地区，筑波地区となる。



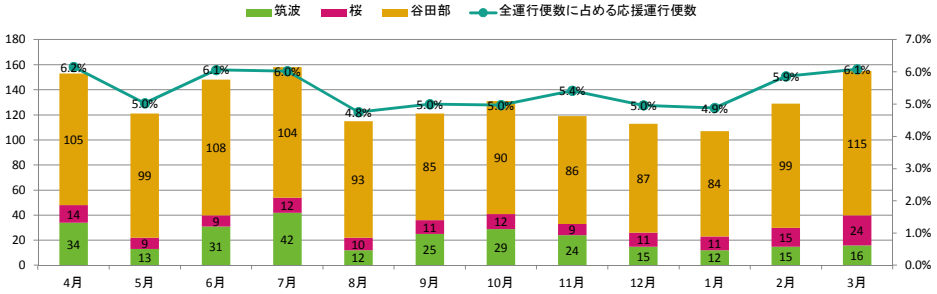
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
筑波	45	50	65	45	79	63	86	38	72	67	57	47	714	59.5
大穂・豊里	23	28	23	58	51	30	65	35	60	61	85	65	584	48.7
桜	43	54	25	50	52	58	76	42	122	151	102	138	913	76.1
谷田部	66	88	73	155	135	102	156	73	197	205	169	148	1,567	130.6
茎崎	9	21	11	17	38	44	13	15	38	48	40	34	328	27.3
合計	186	241	197	325	355	297	396	203	489	532	453	432	4,106	342.2
運行数に対するキャンセルの占める割合	4.3%	5.8%	4.6%	7.1%	8.5%	6.7%	8.5%	5.1%	7.1%	14.1%	11.8%	11.7%	7.9%	

1.8 つくタク 応援運行便数推移

●応援運行制度を導入することで，筑波地区は最大，8台，桜地区は７台，谷田部地区は９台運行できる車両がある。
●応援運行便数は，年間通して1,570便あった。谷田部地区への応援運行便数が最も多い。
●全運行便数に占める応援運行便数は，平均で5.4%程度となる。

NO	タクシー所属地区	号車	応援運行できる地区
1	大穂・豊里	5	筑波
			桜
2		6	筑波
			桜
3		7	筑波
			桜
4		8	桜
			谷田部
5	茎崎	16	谷田部
6		17	谷田部
7		18	谷田部

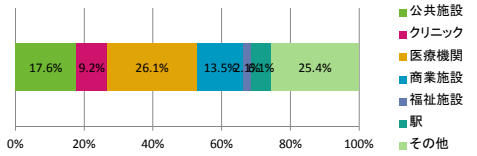
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
筑波地区へ応援	34	13	31	42	12	25	29	24	15	12	15	16	268
桜地区へ応援	14	9	9	12	10	11	12	9	11	11	15	24	147
谷田部地区へ応援	105	99	108	104	93	85	90	86	87	84	99	115	1155
応援運行便数合計	153	121	148	158	115	121	131	119	113	107	129	155	1570
全運行便数	2487	2406	2443	2622	2418	2420	2634	2196	2276	2190	2200	2549	28841
全運行便数に対する応援便数	6.2%	5.0%	6.1%	6.0%	4.8%	5.0%	5.0%	5.4%	5.0%	4.9%	5.9%	6.1%	5.4%



1.9 つくタク乗降場所管理(1/2)

つくタク乗降場所数

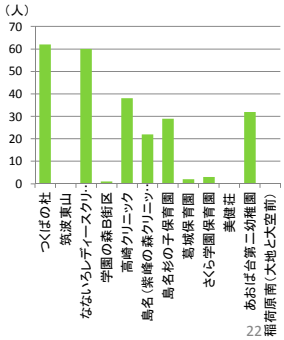
●平成26年度末でつくタク数は707ヵ所となる。医療機関のつくタク乗降場所の利用が最も多い。



区分	乗降場所数	利用者数
公共施設	69	11,291
クリニック	44	5,873
医療機関	8	16,692
商業施設	14	8,638
福祉施設	10	1,343
駅	4	3,887
その他	558	16,280
総計	707	64,004

平成26年度に新設した乗降場所

乗降場所名		地区	設置日	利用数
D100	吉瀬（つくばの杜前）	桜	5月1日	62
A118	筑波東山	筑波	6月1日	0
E225	西大沼（ななんろレディースクリニック）	谷田部	7月1日	60
E226	学園の森２丁目	谷田部	7月1日	1
F82	高崎クリニック	茎崎	8月1日	38
E227	島名（紫峰の森クリニック前）	谷田部	9月1日	22
E228	下河原崎（島名杉の子保育園前）	谷田部	9月1日	29
E229	西大橋（かつらぎ保育園前）	谷田部	9月1日	2
D101	上野（さくら学園保育園前）	桜	10月1日	3
C70	上郷（美健荘前）	大穂豊里	11月1日	0
D102	上ノ室（あおば台第二幼稚園前）	桜	11月1日	32
F83	稲荷原南（大地と大空前）	茎崎	2月1日	0



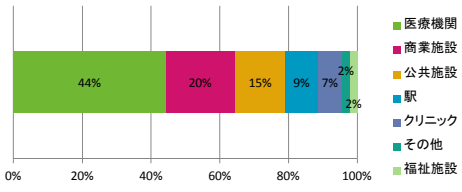
22

1.9 つくタク乗降場所管理(2/2)

●利用が一番多いのは筑波記念病院で年間で5,212人が利用している。
●利用ベスト20位までに入るつくタク乗降場所の利用者総数が34,335人となっている。
年間のつくタク乗降場所利用者数の53.6%を占めている。

番号	乗降場所名	分類	地区	利用者数
1	B35 筑波記念病院	医療機関	大穂・豊里地区	5,212
2	D69 筑波大学病院前	医療機関	桜地区	3,453
3	E107-1 筑波学園病院	医療機関	谷田部地区	3,420
4	D67 つくばセンター	駅	桜地区	2,614
5	D71 筑波メディカルセンター前	医療機関	桜地区	2,442
6	B14 大穂窓口センター	公共施設	大穂・豊里地区	2,409
7	D33 クレオ前	商業施設	桜地区	2,178
8	E4 アッセ入口	商業施設	谷田部地区	1,583
9	E6 イーアスつくば	商業施設	谷田部地区	1,341
10	A85-1北条（広瀬医院）	クリニック	筑波地区	1,258
11	E223 イオンモールつくば(25年2月)	商業施設	谷田部地区	1,216
12	B62 前野(中川医院前) (24年7月)	クリニック	大穂・豊里地区	1,146
13	E207谷田部老人福祉センター	公共施設	谷田部地区	978
14	F22 茎崎老人福祉センター	公共施設	茎崎地区	845
15	A79 馬場	その他	筑波地区	768
16	E112 つくば市役所	公共施設	谷田部地区	764
17	E214 ﾗｲﾌｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ入口	福祉施設	谷田部地区	754
18	B3 いちはら病院	医療機関	大穂・豊里地区	686
19	E65 研究学園駅	駅	谷田部地区	638
20	F80 高見原一丁目（マスダ）	商業施設	茎崎地区	630
	合計			34,335

区分	乗降場所名	利用者数
医療機関	5	15,213
商業施設	5	6,948
公共施設	4	4,996
駅	2	3,252
クリニック	2	2,404
その他	1	768
福祉施設	1	754
合計	20	34,335

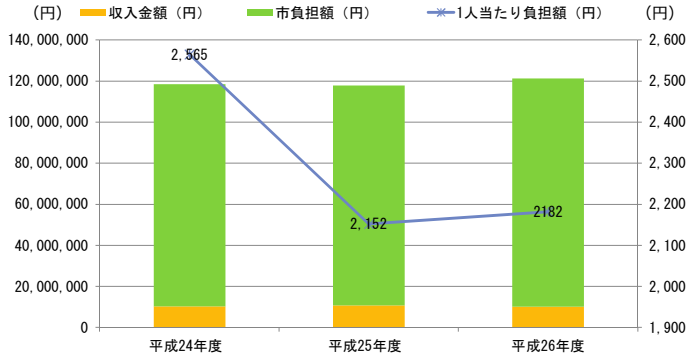


23

2 つくタク 全体収支状況

●現状の利用者数では，運行に要する経費において費用対効果が低いため財政上課題がある。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対H25年度比較
利用人数（人）	46,720	49,683	50,865	1,182
運行経費（円）	118,399,921	117,761,809	121,234,126	3,472,317
運賃収入金額（円）	10,303,041	10,832,592	10,248,544	−584,048
市負担額（円）	108,096,880	106,929,217	110,985,582	4,056,365
1人当たり負担額（円）	2,565	2,152	2,182	30



24

資料２－６

公共交通の利用に関するアンケート調査結果概要

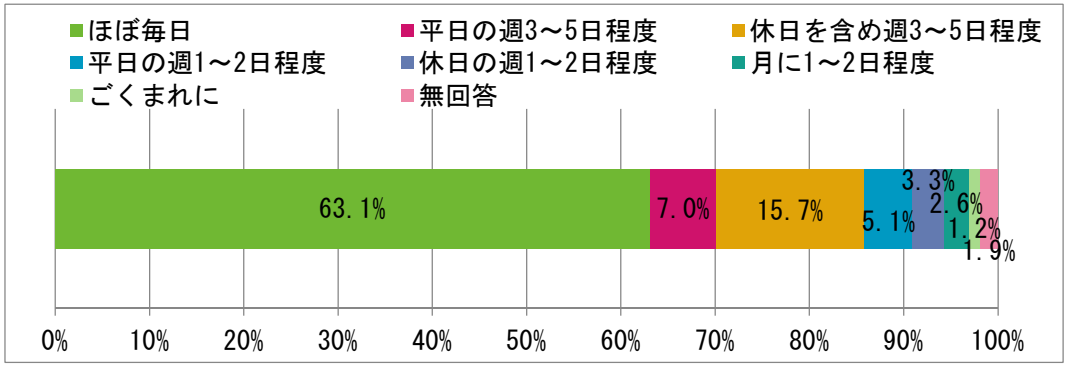
１　在宅市民対象調査

■普段の外出

【１】外出頻度

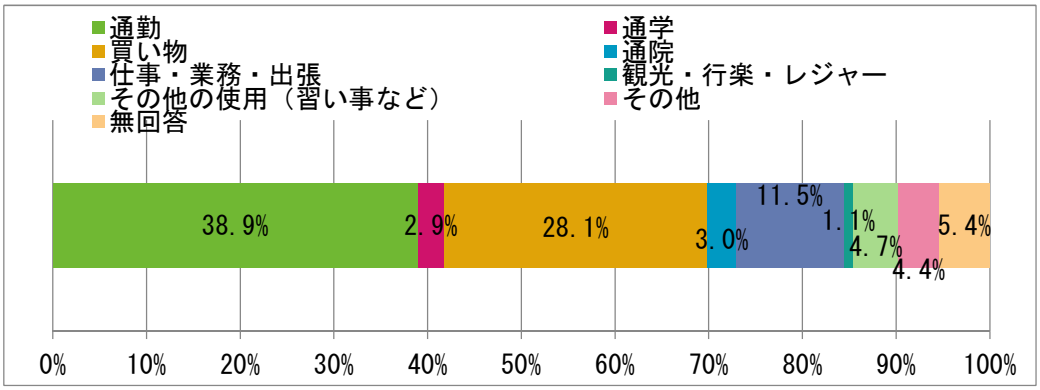
○「ほぼ毎日」が 63.1%，「休日を含め週３～５日程度」が 15.7%を占めている。

○上記に「平日の週３～５日程度」（7.0%）を含めた高頻度外出者は全体の８割強を占めている。



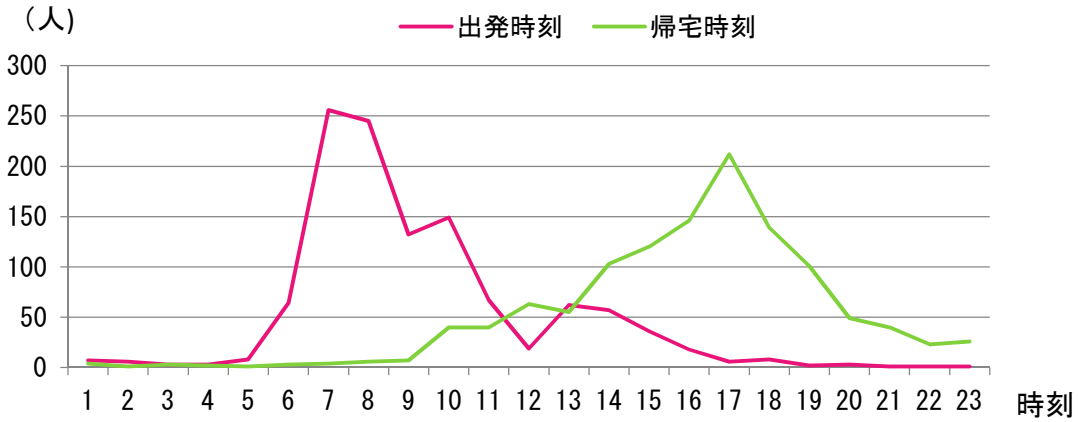
【２】外出目的

○「通勤」が 38.9%で最も多く，次いで「買い物」（28.1%），「仕事・業務・出張」（11.5%）などの順となっている。



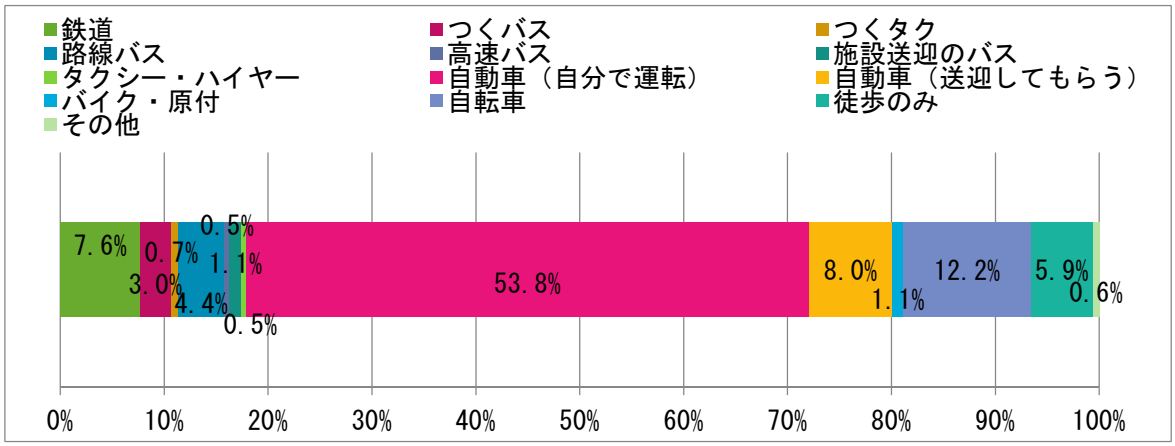
【３】外出時刻

○出発時刻のピークが 7 時，帰宅時刻のピークが 17 時となっている。通勤による外出者が多い傾向がでている。



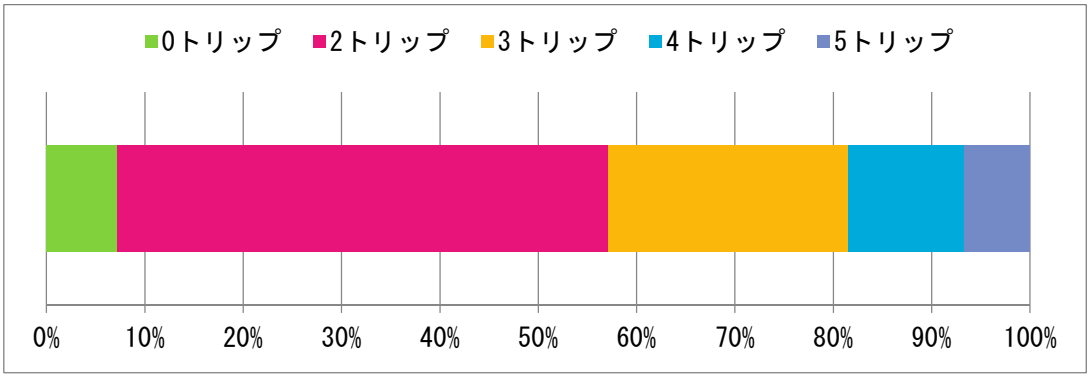
【４】【２】で回答した外出の交通手段

○「自動車（自分で運転）」が 53.8%で最も多く，次いで「自転車」（12.2%），「自動車（送迎してもらう）」（8.0%）などの順となっている。



【５】普段の外出のトリップ数

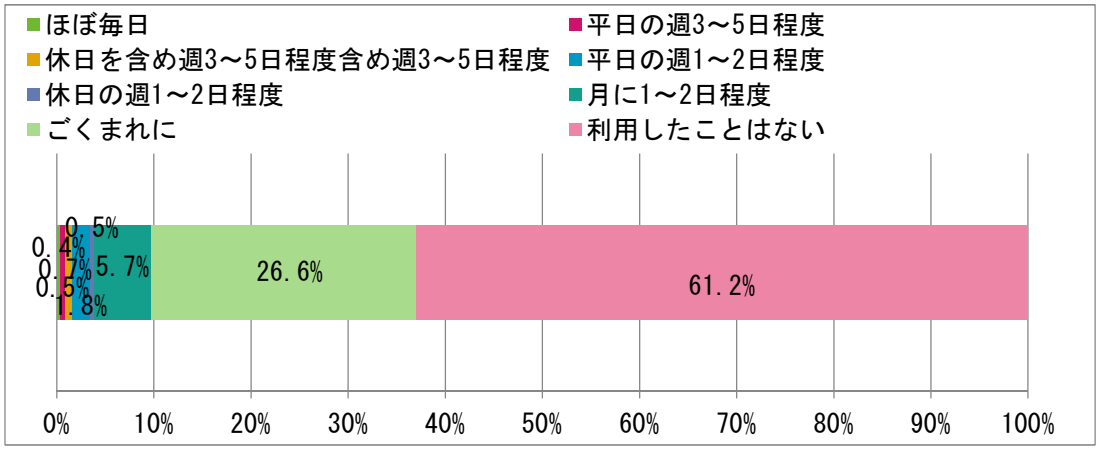
○「２トリップ」が 49.8%と一番多く，次いで「３トリップ」の 24.5%となっている。



■つくバス利用状況

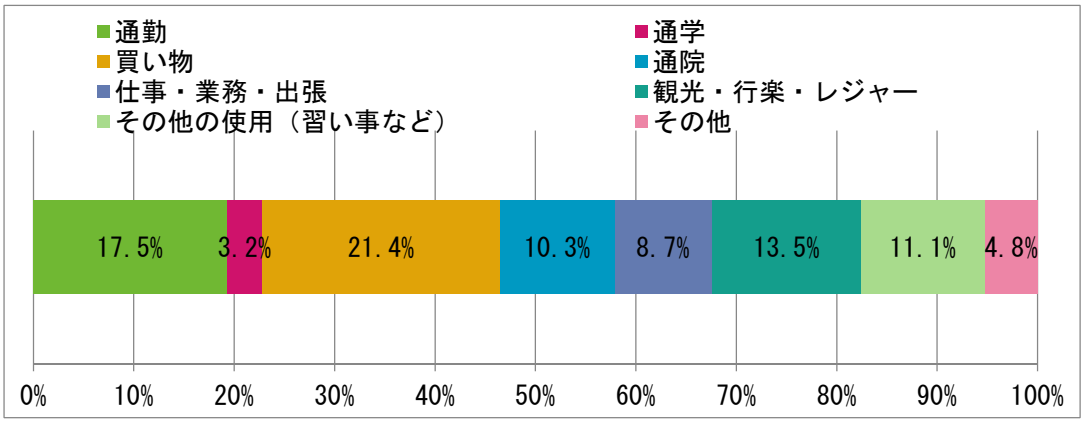
【６】利用頻度

○「利用したことはない」が 61.2%で最も多く，「ごくまれに」が 26.6%でこれに次いでいる。「利用したことがない」「ごくまれに」を合わせると９割弱を占める。



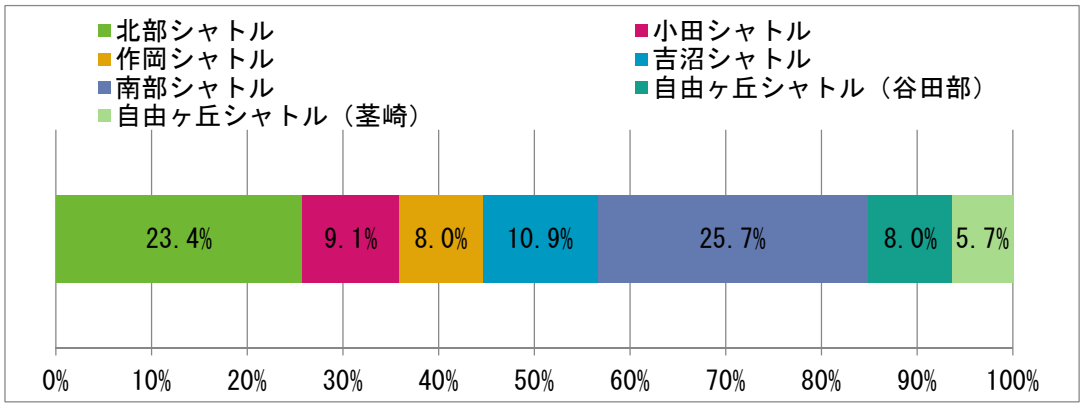
【７】つくバスを利用する目的

○「買い物」が 21.4%で最も多く，次いで「通勤」（17.5%），「観光・行楽・レジャー」（13.5%），「その他の使用（習い事など）」（11.1%）などの順となっている。



【８】【７】で利用したことがあると回答した人の利用路線

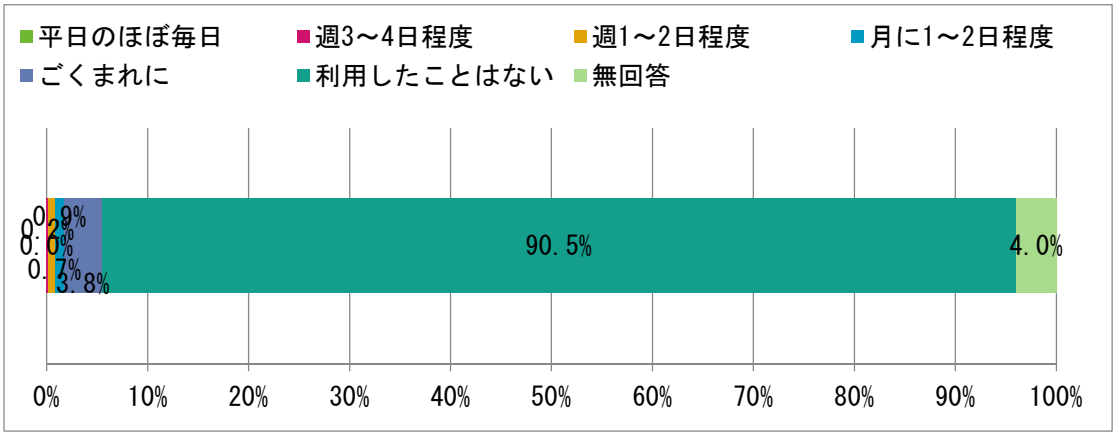
○「南部シャトル」が 25.7%で最も多く，「北部シャトル」が 23.4%でこれに次いでいる。



■つくタク利用状況

【９】つくタクの利用頻度

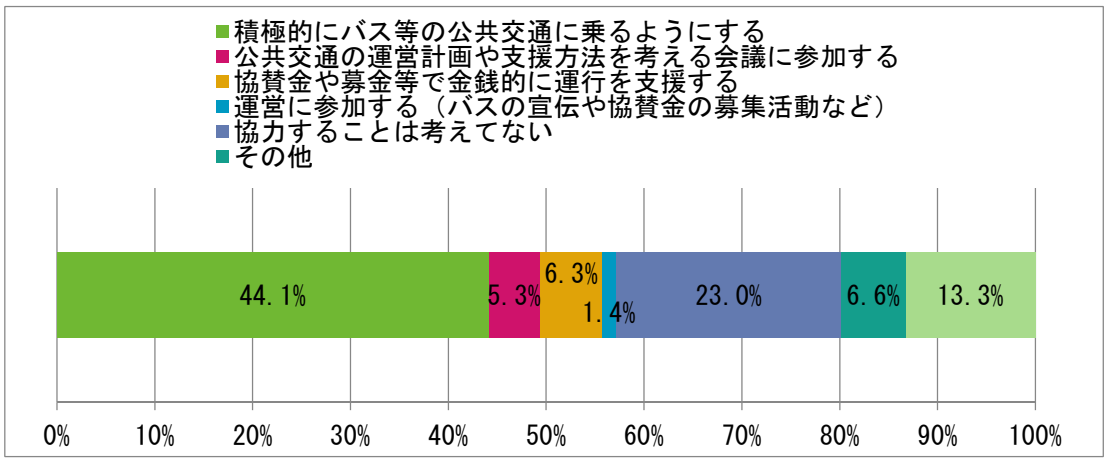
○「利用したことはない」が 90.5%で最も多く，「ごくまれに」が 3.8%でこれに次いでいる。「利用したことがない」と「ごくまれに」で約９割を占めている。



■市内公共交通への協力意向

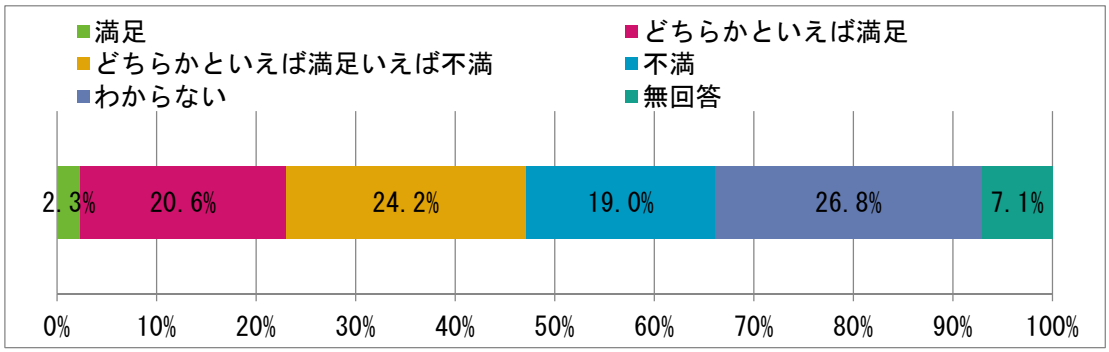
【10】公共交通に対する協力意向

○「積極的にバス等の公共交通に乗るようにする」が 44.1%で最も多く，協力意向が全体の６割弱を占める。対して「協力することは考えていない」が 23.0%あった。



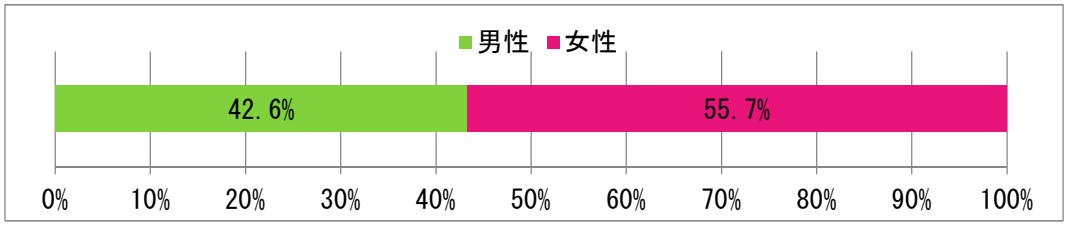
【11】公共交通に対する満足度

○「満足」と「どちらかといえば満足」との合計は 22.9%を占める。対して「不満」と「どちらかといえば満足いえば不満」との合計は 43.2%で，全体の４割強が不満に感じている。

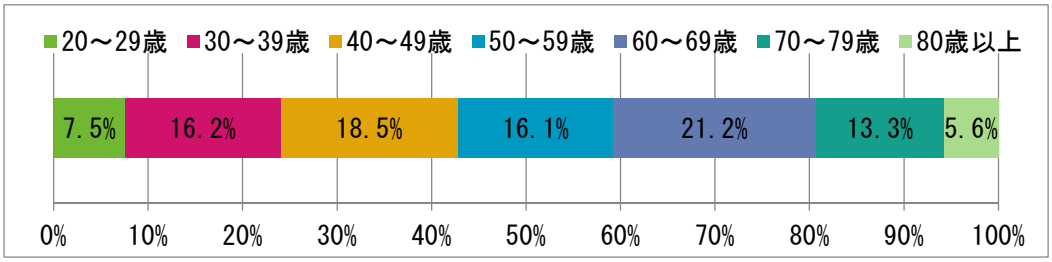


■回答者属性

【12】性別



【13】年齢

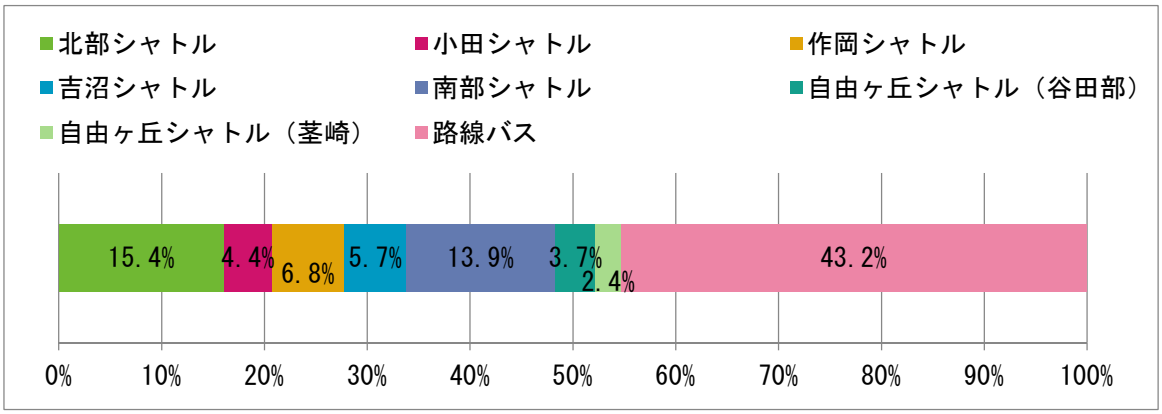


２　つくバス利用者調査

■調査時の利用状況

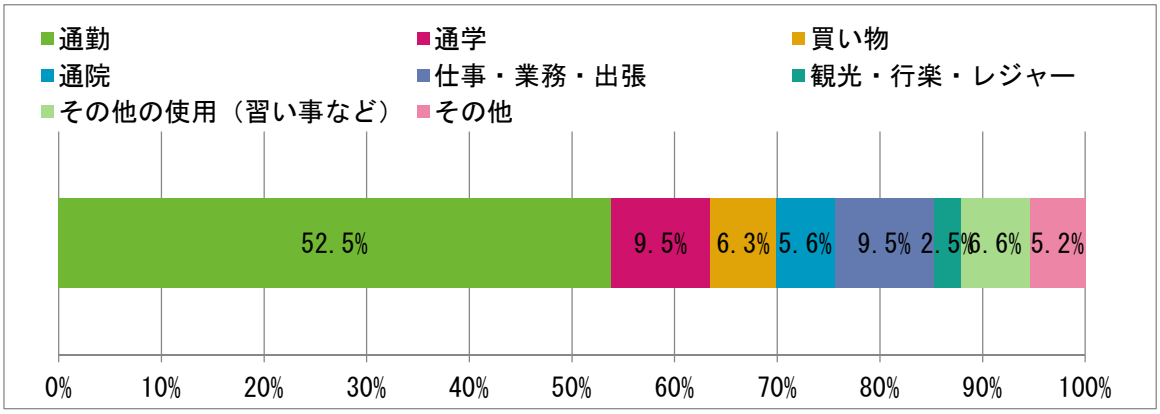
【１】利用路線

○「路線バス」が 43.2%で最も多く，「北部シャトル」が 15.4%でこれに次いでいる。



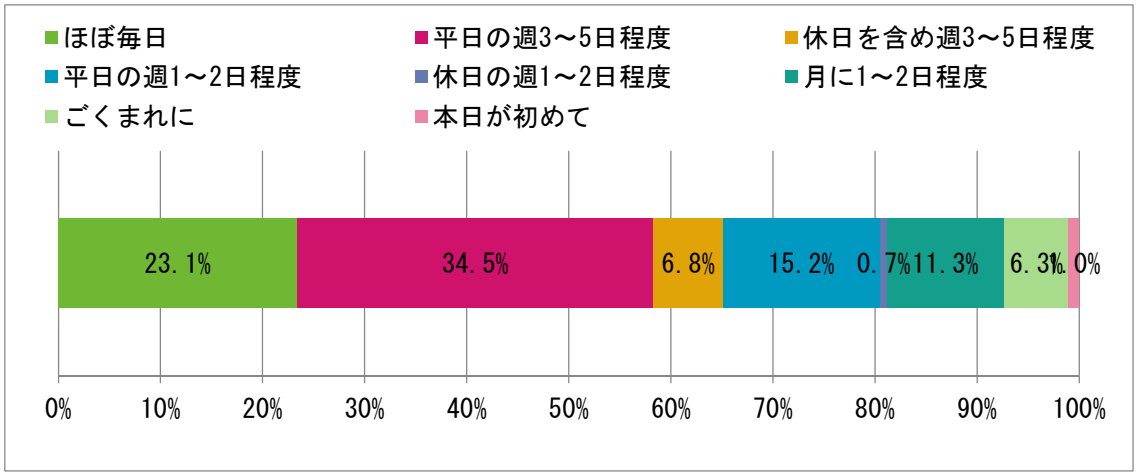
【２】利用目的

○「通勤」が 52.5%で最も多く，次いで「通学」及び「仕事・業務・出張」(9.5%)，「その他の使用（習い事など）」(6.6%)，などの順となっている。



【３】利用頻度

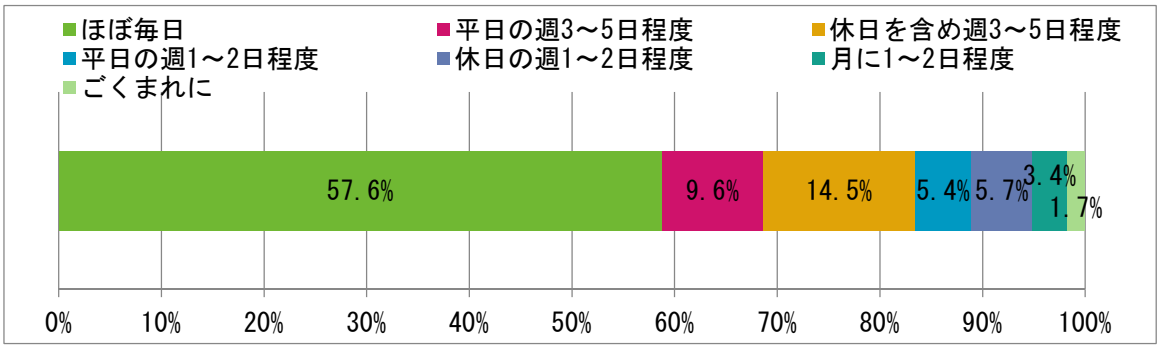
○「平日の週３～５日程度」が 34.5%で最も多く，「ほぼ毎日」が 23.1%でこれに次いでいる。



■普段の外出

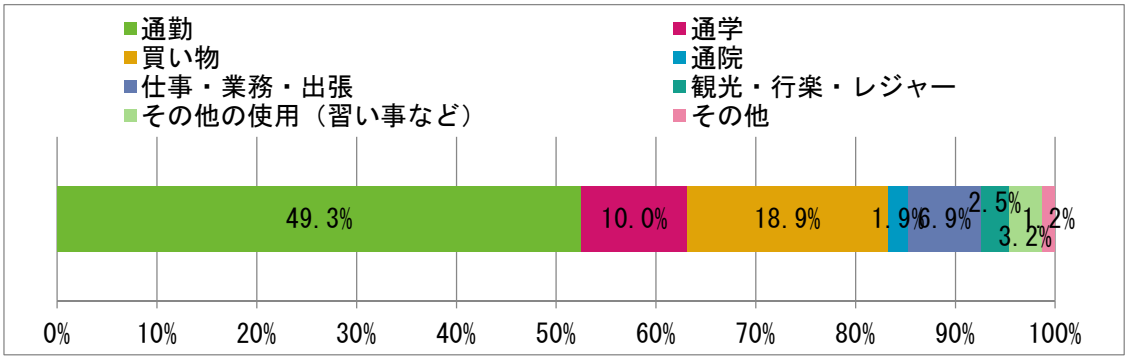
【４】外出頻度

○「ほぼ毎日」が 57.6%で最も多く，「休日を含め週３～５日程度」が 14.5%でこれに次いでいる。



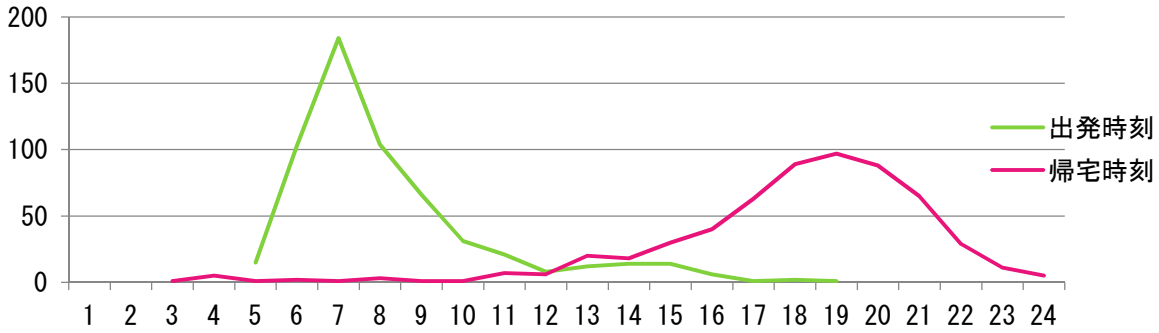
【５】外出目的

○「通勤」が 49.3%で最も多く，次いで「買い物」（18.9%），「通学」（10.0%），「仕事・業務・出張」（6.9%），などの順となっている。



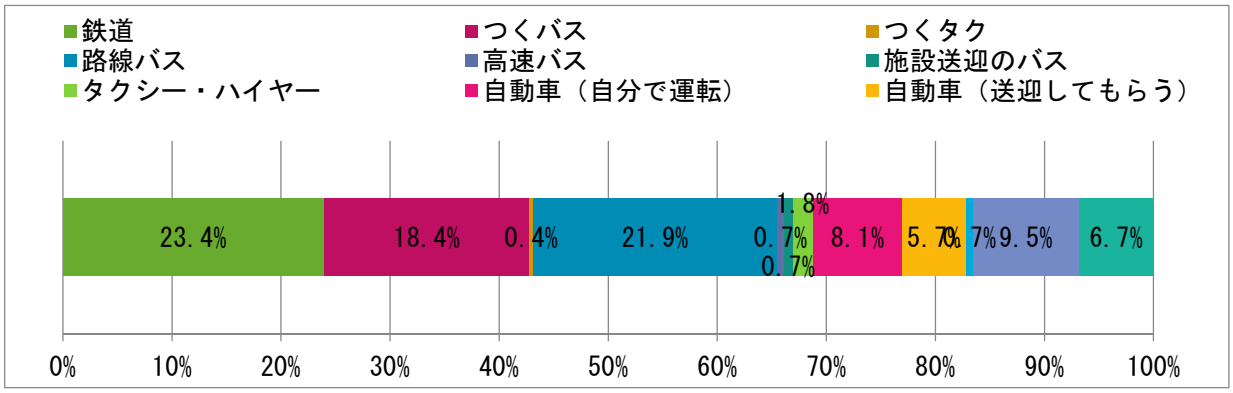
【６】外出時刻

○出発時刻のピークは７時台で，帰宅時刻のピークは 19 時台である。



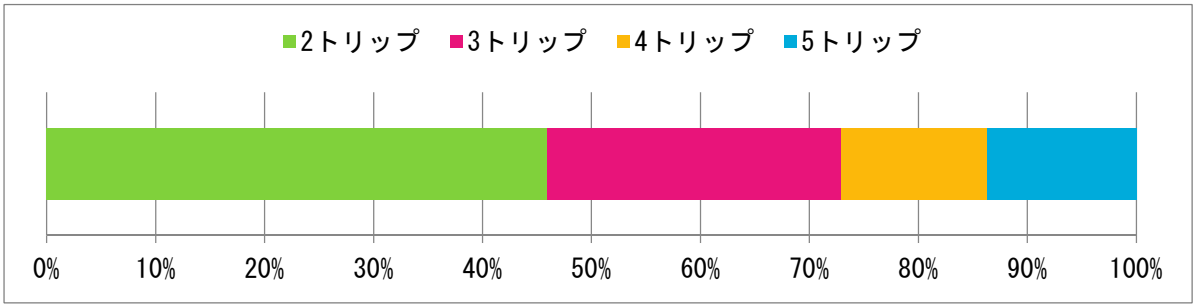
【７】【５】の外出時の交通手段

○「鉄道」が 23.4%で最も多く，次いで「路線バス」(21.9%)，「つくバス」(18.4%）などの順となっている。



【８】普段の外出時のトリップ数

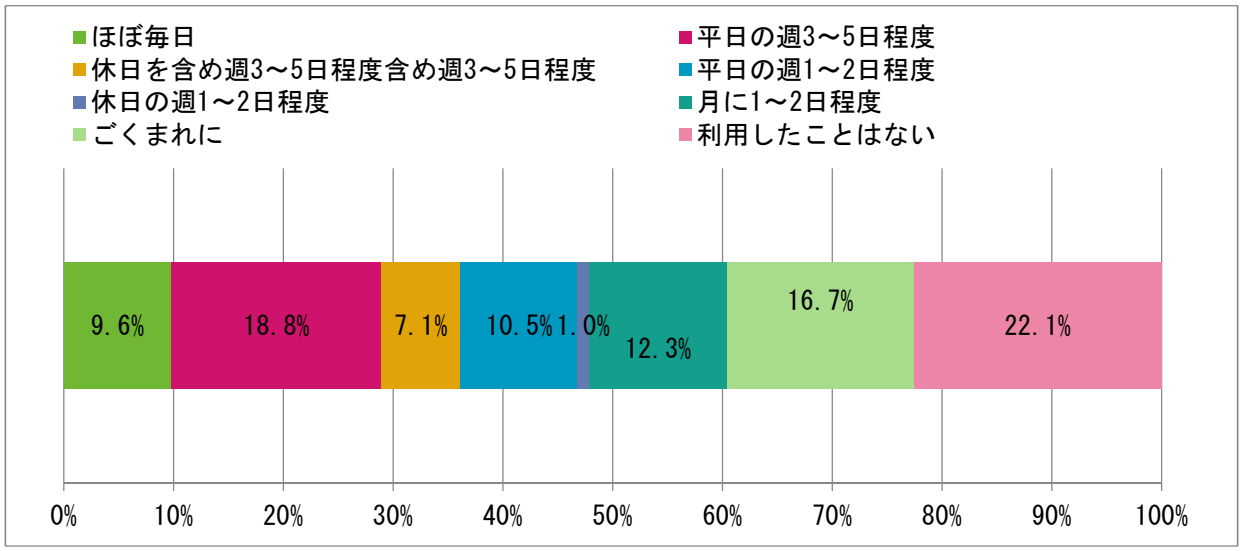
○「2 トリップ」が 45.9%と最も多く、次いで「3 トリップ」が 27.0%となっている。



■つくバス利用状況

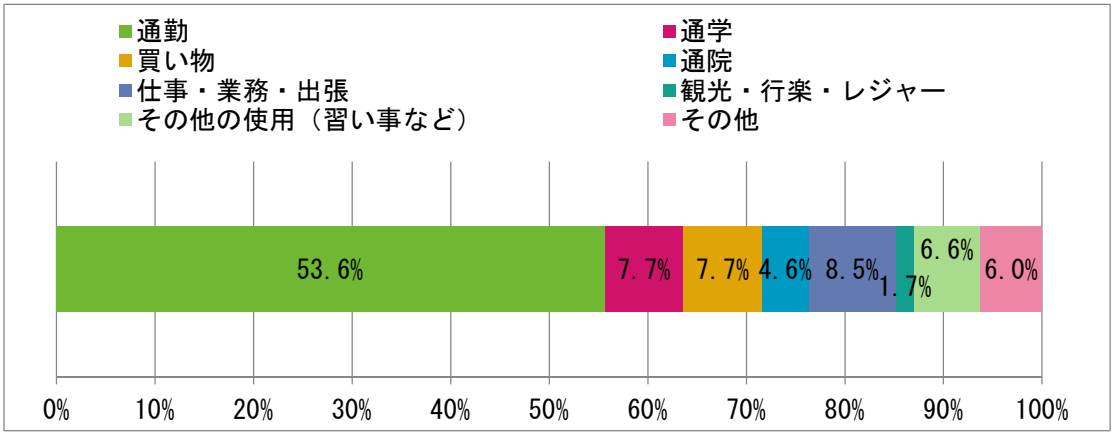
【９】利用頻度

○「平日の週３～５日程度」が 18.8%で最も多く，「ごくまれに」が 16.7%でこれに次いでいる。



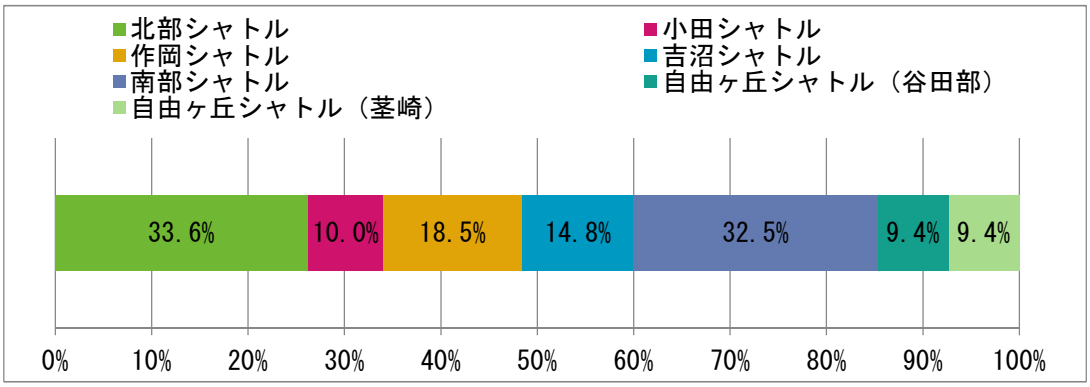
【10】「つくバス」を利用する目的

○「通勤」が 53.6%で最も多く，次いで「仕事・業務・出張」(8.5%)，「通学」及び「買い物」(7.7%) などの順となっている。



【11】【９】で利用したことがあると回答した人の利用路線

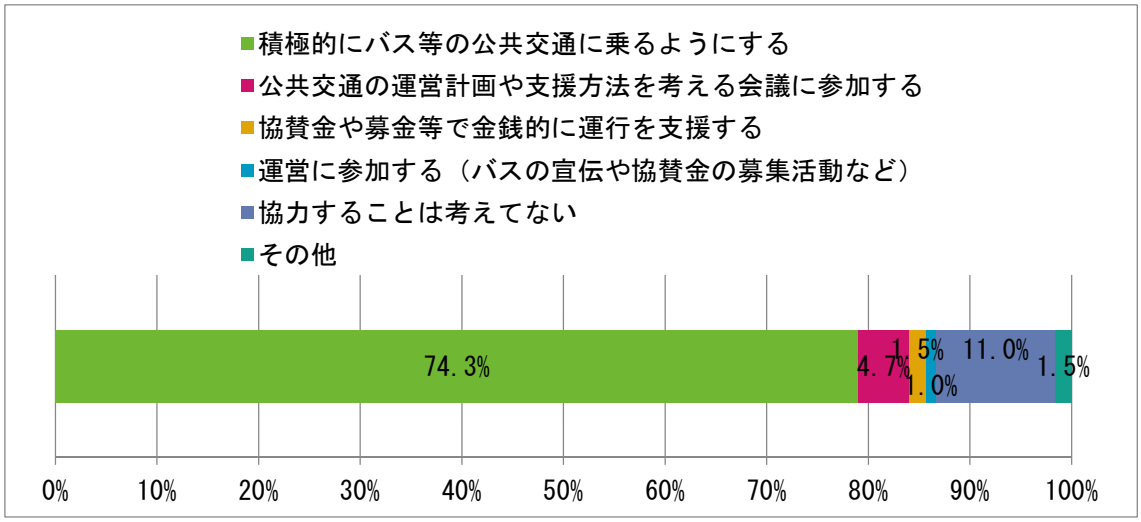
○「北部シャトル」が 25.3%で最も多く，「南部シャトル」が 24.5%でこれに次いでいる。



■公共交通への協力意向

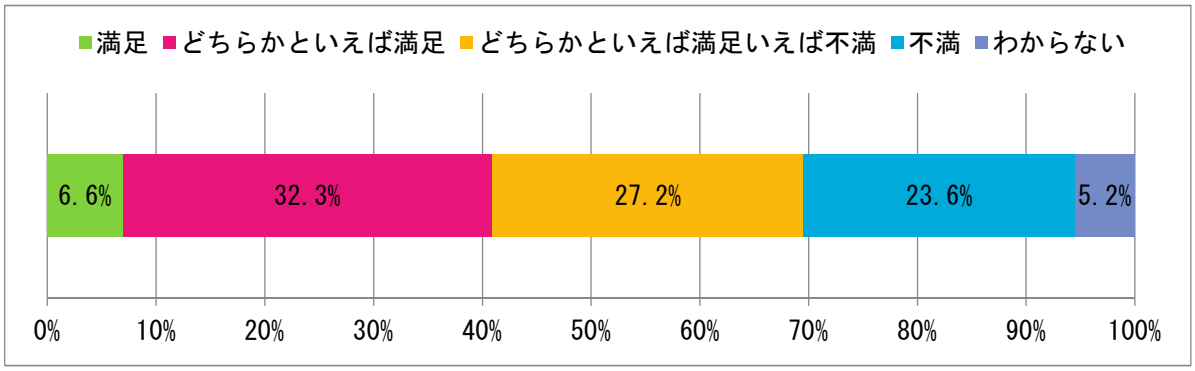
【12】公共交通に対する協力意向

○「積極的にバス等の公共交通に乗るようにする」が 74.3%で最も多く，協力意向が全体の約８割を占める。対して「協力することは考えていない」が 11.0%あった。



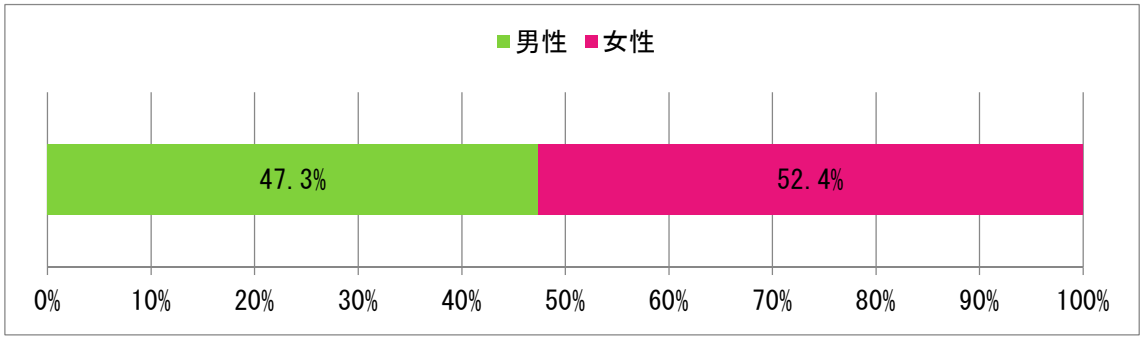
【13】公共交通に対する満足度

○「満足」と「どちらかといえば満足」との合計は 38.9%を占める。対して「不満」と「どちらかといえば満足いえば不満」との合計は 50.8%で，全体の半数が少なからず不満に感じている。

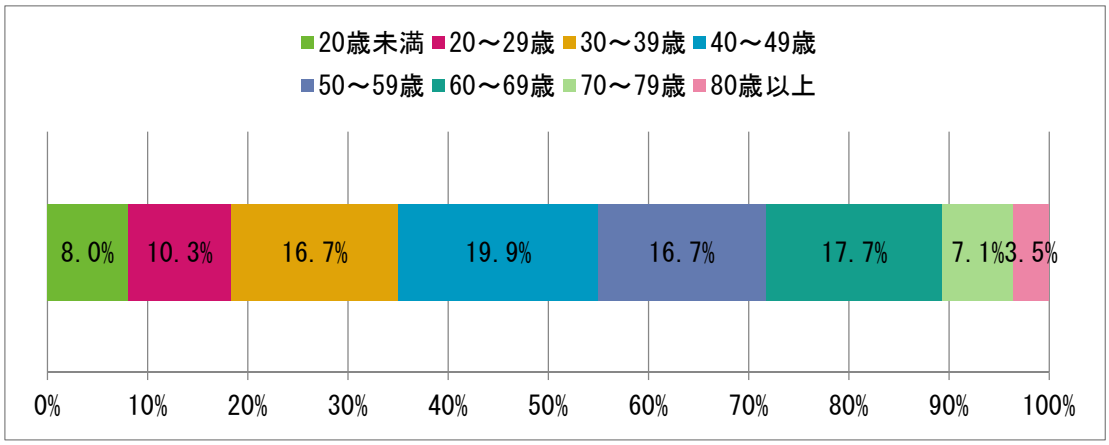


■回答者属性

【14】性別



【15】年齢

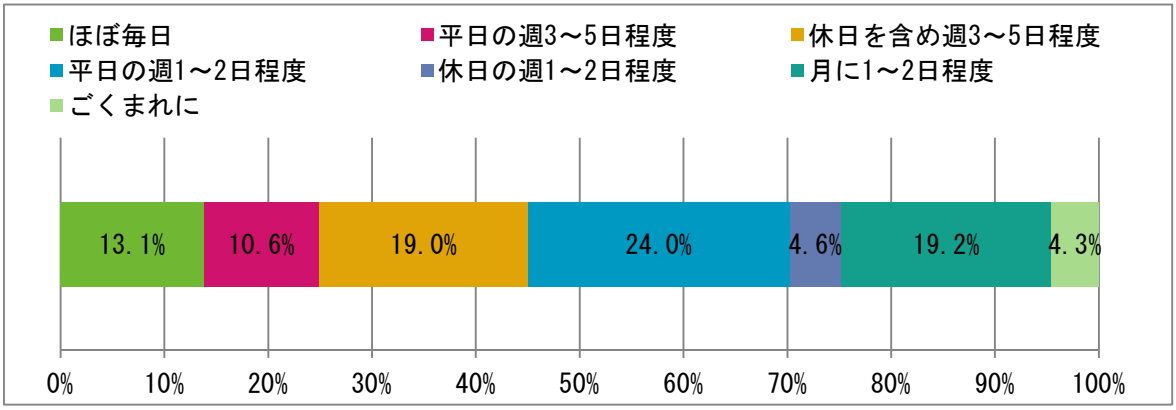


３　つくタク利用者調査

■普段の外出

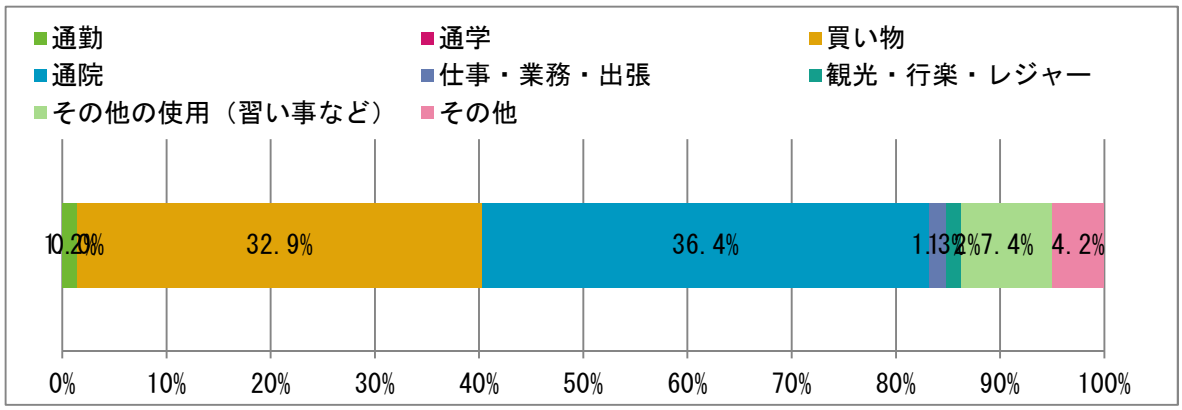
【１】外出頻度

○「平日の週１～２日程度」が 24.0%で最も多く，「月に１～２日程度」が 19.2%でこれに次いでいる。



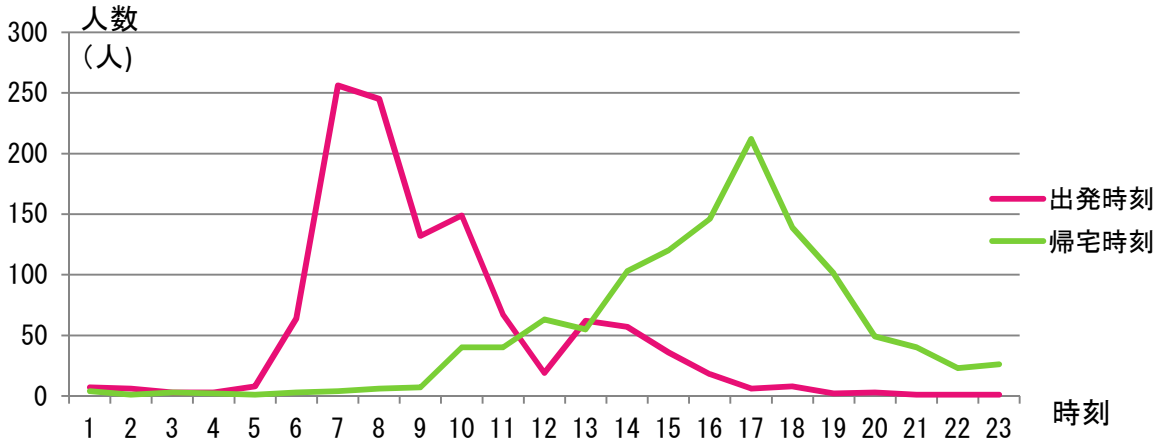
【２】外出目的

○「通院」が 36.4%で最も多く，次いで「買い物」(32.9%)，「その他の使用（習い事など）」(7.4%)などの順となっている。



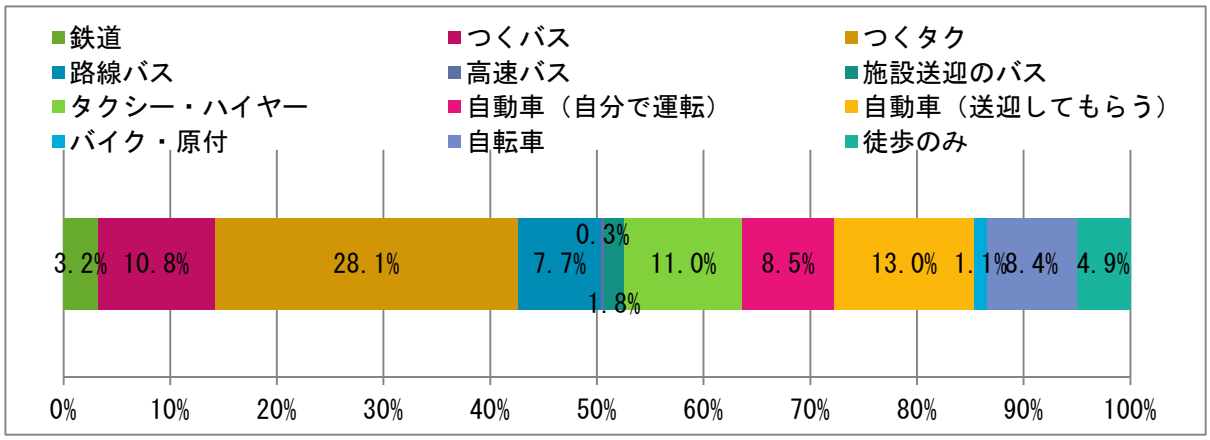
【３】外出時刻

○出発時刻は「9 時台」が最も多く，次いで「10 時台」の順となっている。帰宅時刻は「14 時台」が最も多く，次いで「13 時台」となっている。



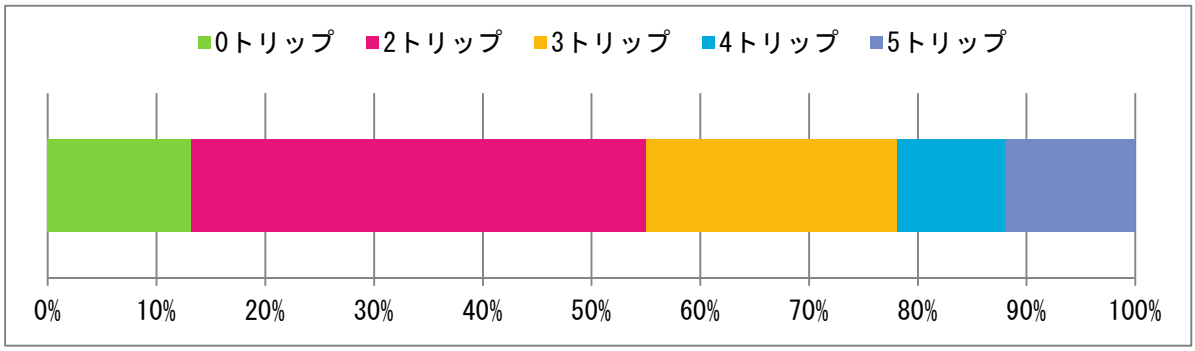
【４】【２】で回答をした外出の交通手段

○「つくタク」が 28.1%で最も多く，次いで「自動車（送迎してもらう）」(13.0%)，「タクシー・ハイヤー」（11.0%）などの順となっている。



【５】普段の外出のトリップ数

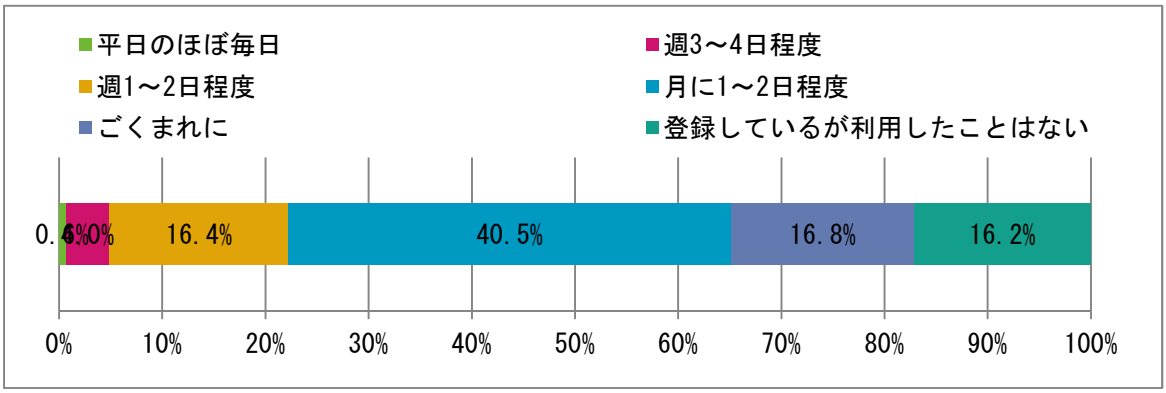
○「２トリップ」が 41.9%で最も多くなっている。



■つくタク利用状況

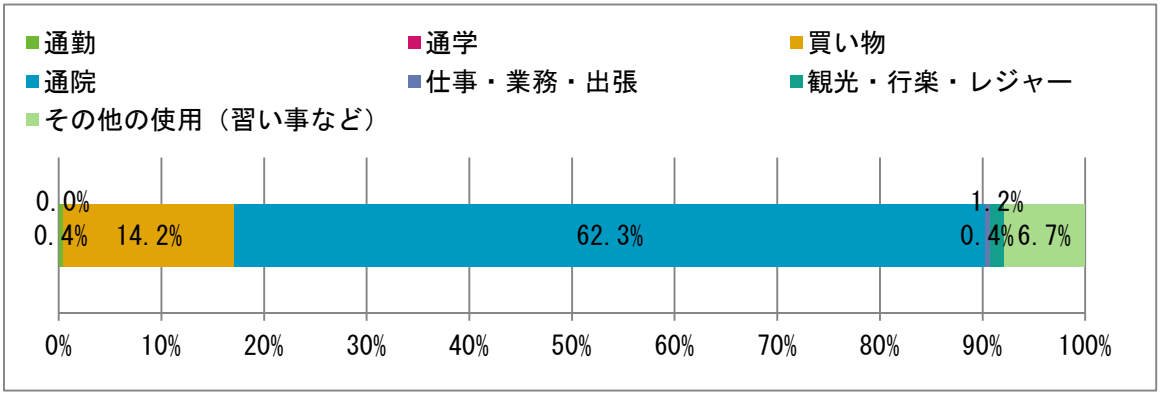
【６】利用頻度

○「月に１～２日程度」が 40.5%で最も多く，「ごくまれに」が 16.8%でこれに次いでいる。



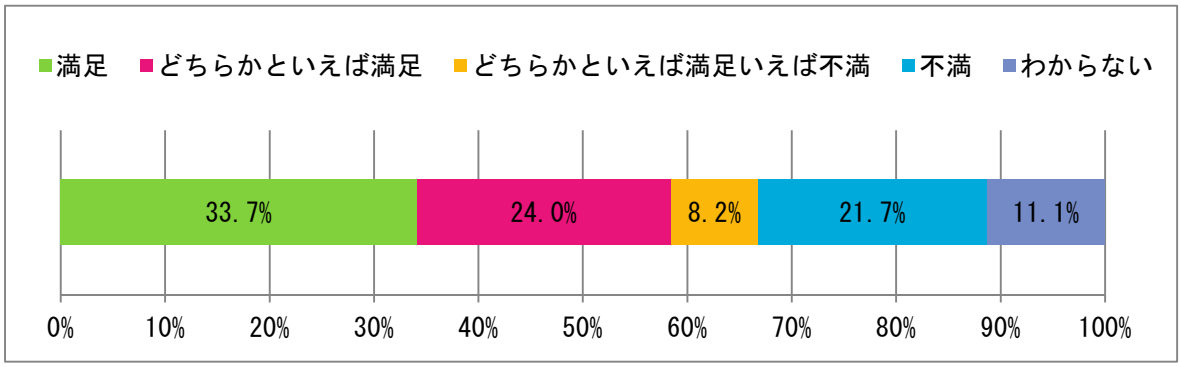
【７】利用目的

〇「通院」が 62.3%で最も多く，次いで「買い物」(14.2%)，「その他の使用（習い事など）」(6.7%)などの順となっている。



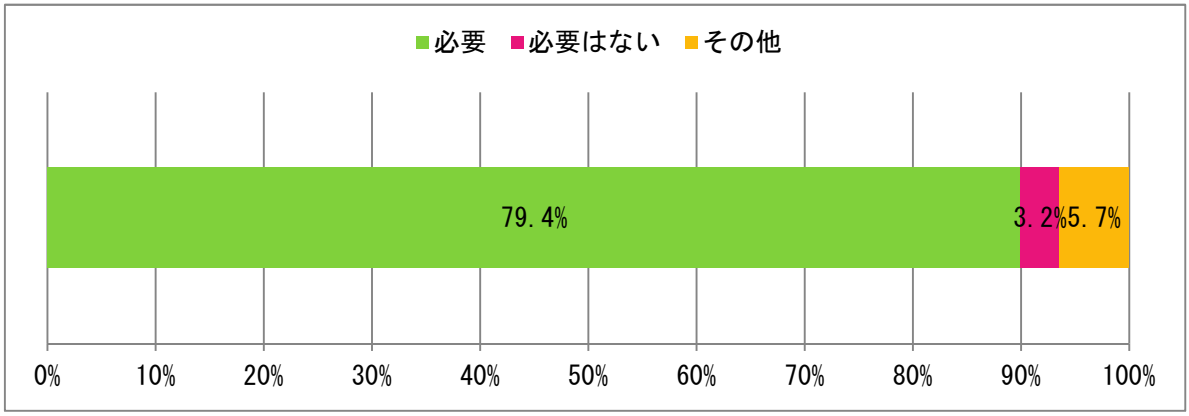
【８】満足度

〇「満足」と「どちらかといえば満足」との合計は 57.7%を占め，全体の６割弱は満足と感じている。



【９】つくタクの必要性

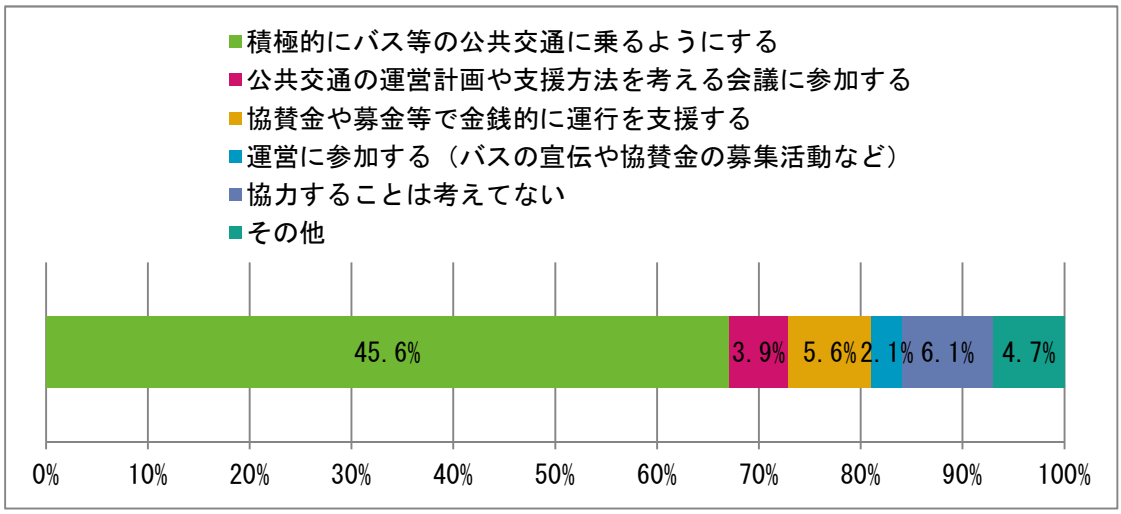
〇「必要」が 79.4%，「必要ない」が 3.2%で，全体の約８割が必要と感じている。



■公共交通への協力意向

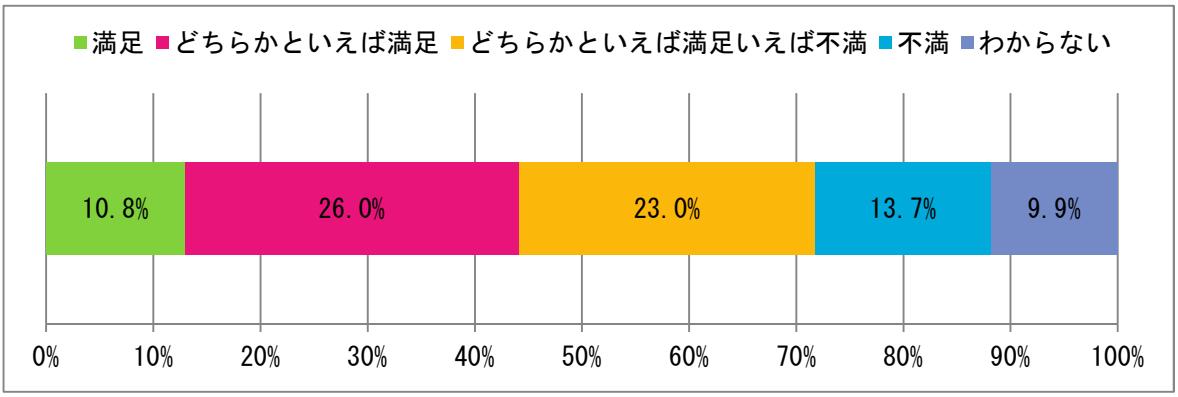
【10】公共交通に対する協力意向

○「積極的にバス等の公共交通に乗るようにする」が 45.6%で最も多く，協力意向が全体の６割弱を占める。対して「協力することは考えていない」が 6.1%であった。



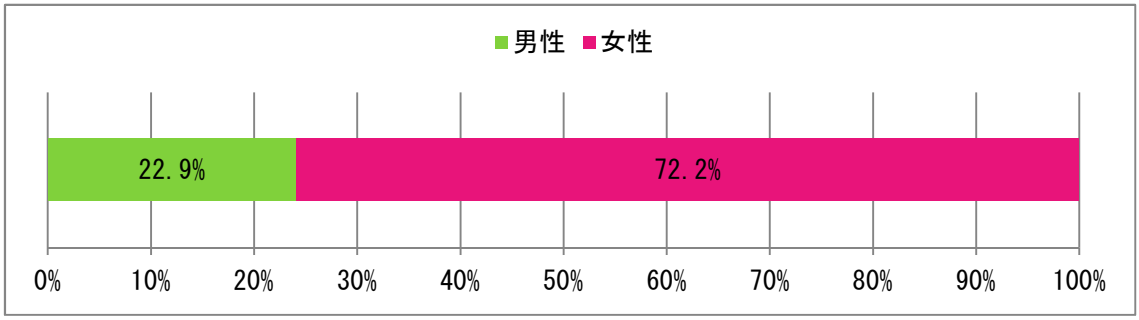
【11】　公共交通に対する満足度

○「満足」と「どちらかといえば満足」との合計は 36.8%を占める。対して「不満」と「どちらかといえば満足いえば不満」との合計は 36.7%で，ほぼ同数であった。

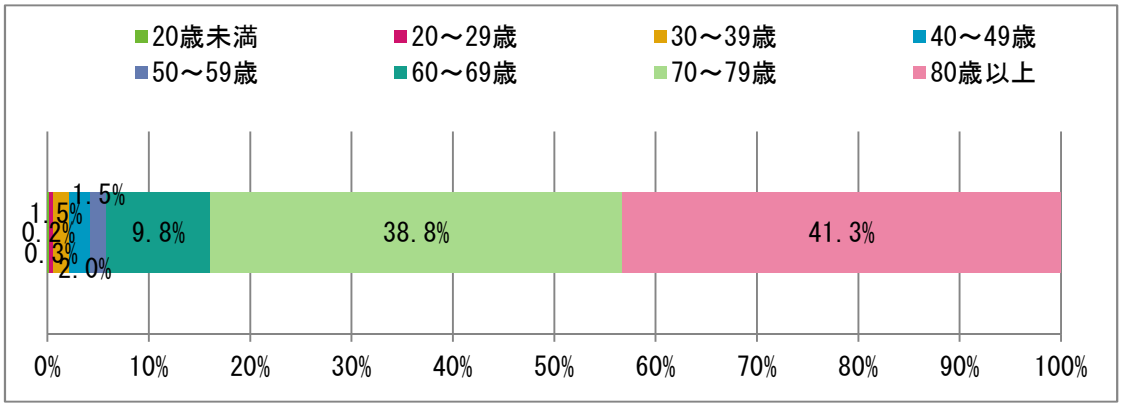


■回答者属性

【12】性別



【13】　年齢


20歳未満
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70～79歳
80歳以上
1.5%
0.2%
0.3%
1.5%
2.0%
9.8%
38.8%
41.3%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%